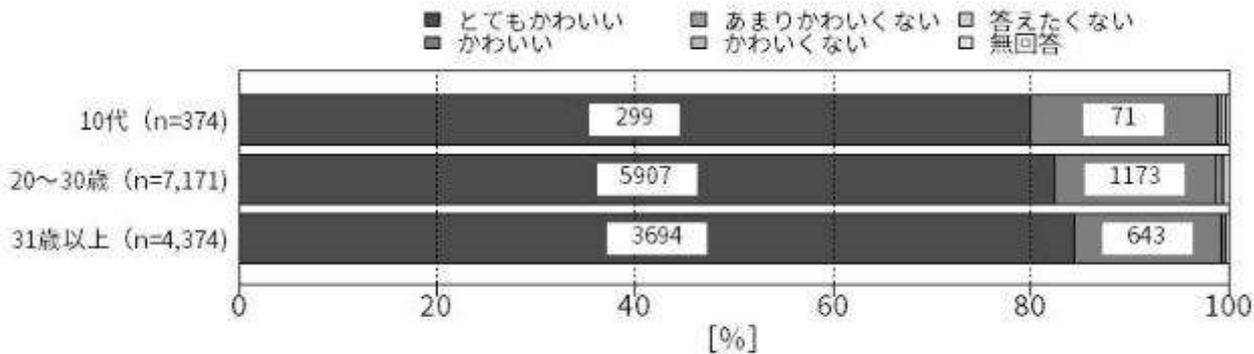


初めて親となった年齢別に見た、子との関係（１）子どもをかわいいと思うか（問 33×問 31-1）
 ※母親が回答者の場合に限定

<大阪市 24 区>



<大阪市港区>

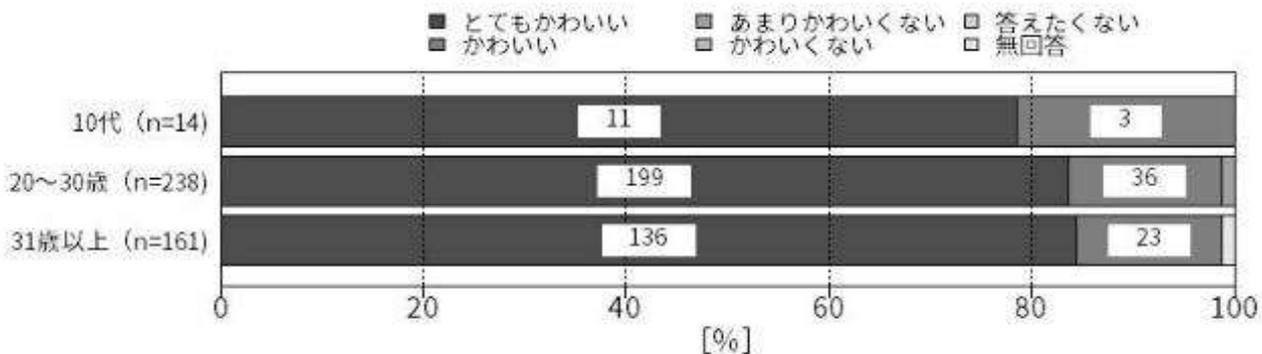
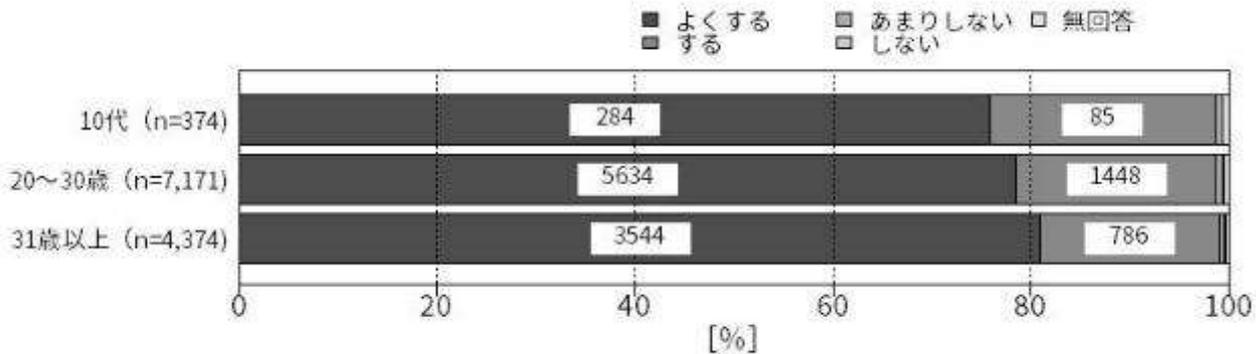


図 100. 初めて親となった年齢別に見た、子との関係（１）子どもをかわいいと思うか
 ※母親が回答者の場合に限定

10代で出産する人は人数が少ないため、この群と比較して傾向を述べることはできない。

初めて親となった年齢別に見た、子との関係（２）子どもと会話（問 33×問 31-2）
 ※母親が回答者の場合に限定

<大阪市 24 区>



<大阪市港区>

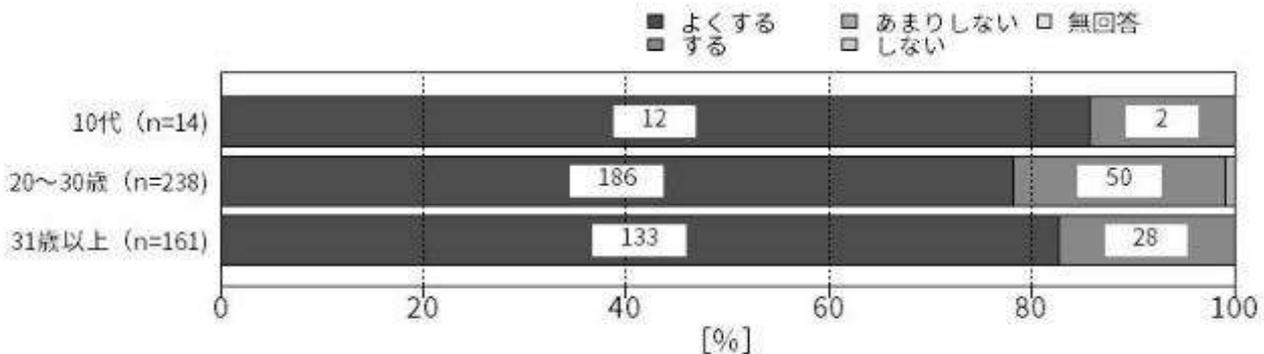
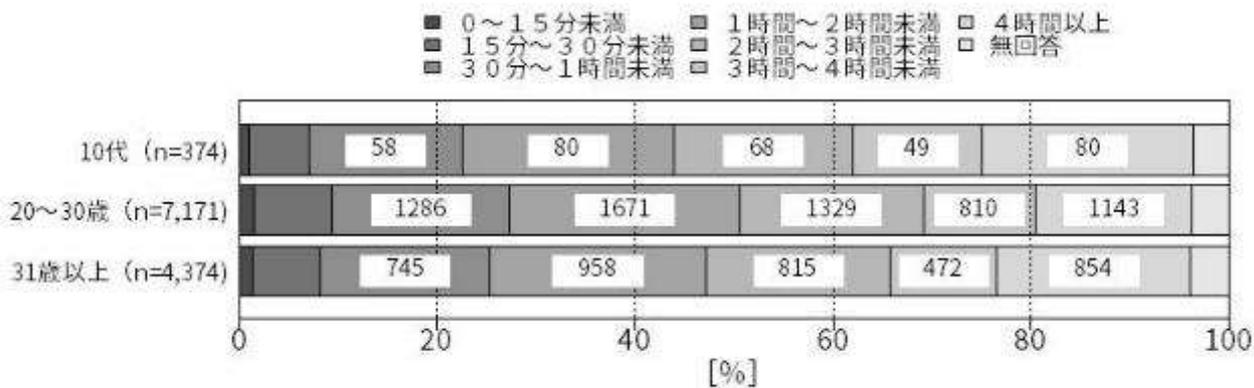


図 101. 初めて親となった年齢別に見た、子との関係（２）子どもと会話
 ※母親が回答者の場合に限定

10代で出産する人は人数が少ないため、この群と比較して傾向を述べることはできない。

初めて親となった年齢別に見た、子との関係（３）子どもと一緒にいる時間（平日）
 （問 33×問 31-3-平日）※母親が回答者の場合に限定

<大阪市 24 区>



<大阪市港区>

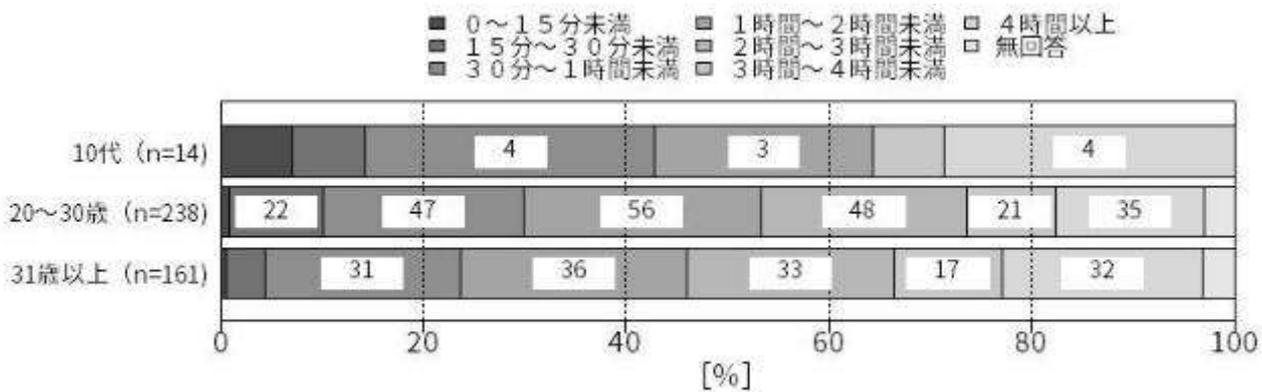
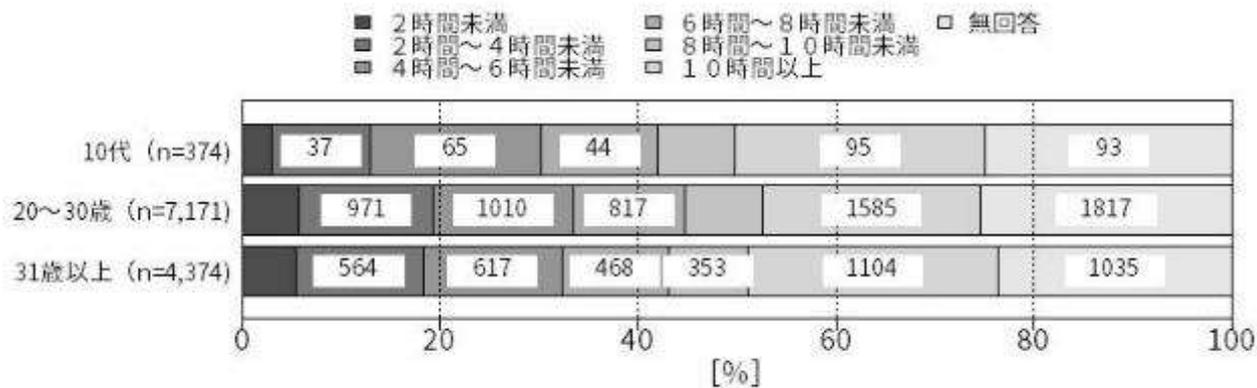


図 102. 初めて親となった年齢別に見た、子との関係（３）子どもと一緒にいる時間（平日）
 ※母親が回答者の場合に限定

10代で出産する人は人数が少ないため、この群と比較して傾向を述べることはできない。

初めて親となった年齢別に見た、子との関係（3）子どもと一緒にいる時間（休日）
 （問 33×問 31-3-休日）※母親が回答者の場合に限定

<大阪市 24 区>



<大阪市港区>

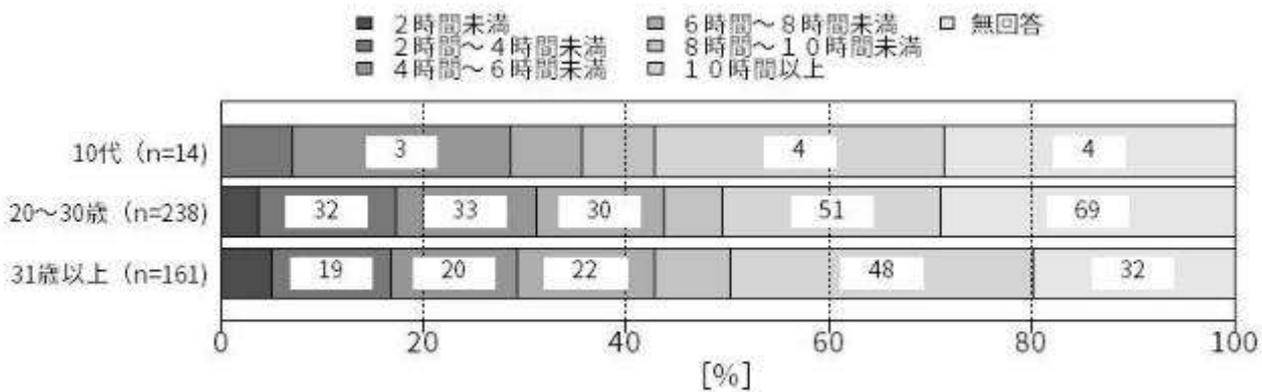
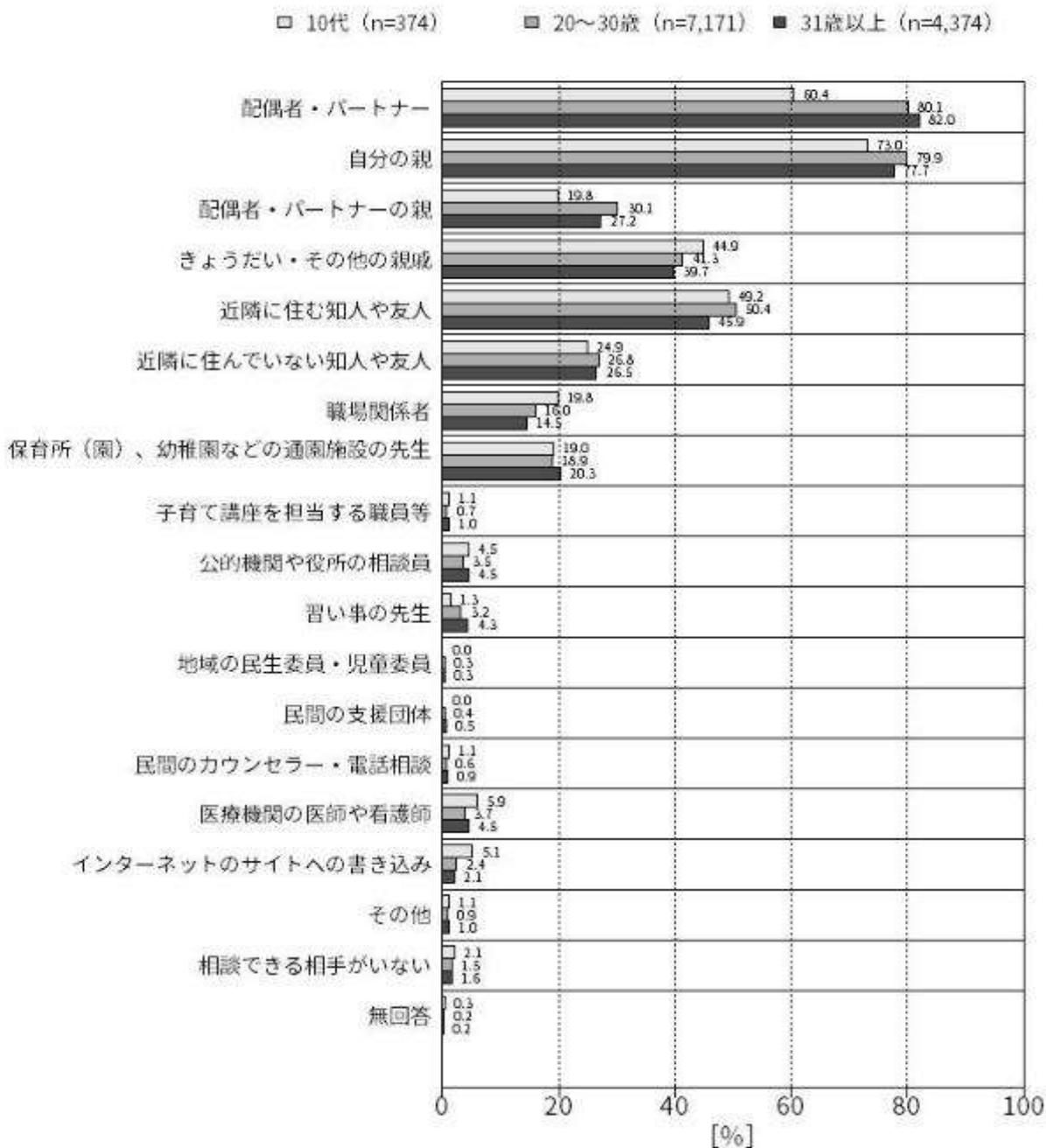


図 103. 初めて親となった年齢別に見た、子との関係（3）子どもと一緒にいる時間（休日）
 ※母親が回答者の場合に限定

10代で出産する人は人数が少ないため、この群と比較して傾向を述べることはできない。

初めて親となった年齢別に見た、相談相手（問 33×問 35）※母親が回答者の場合に限定

<大阪市 24 区>



<大阪市港区>

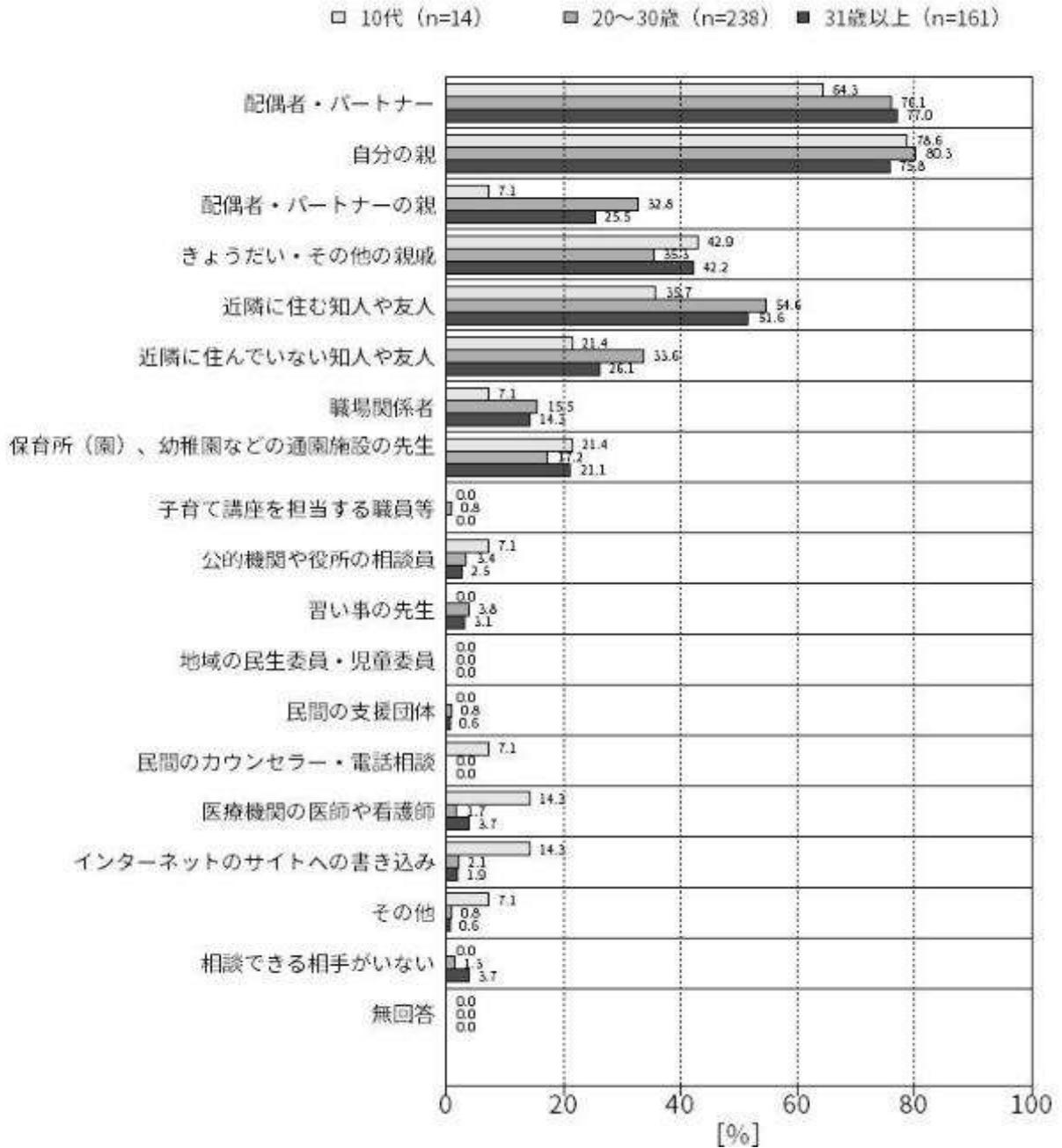


図 104. 初めて親となった年齢別に見た、相談相手

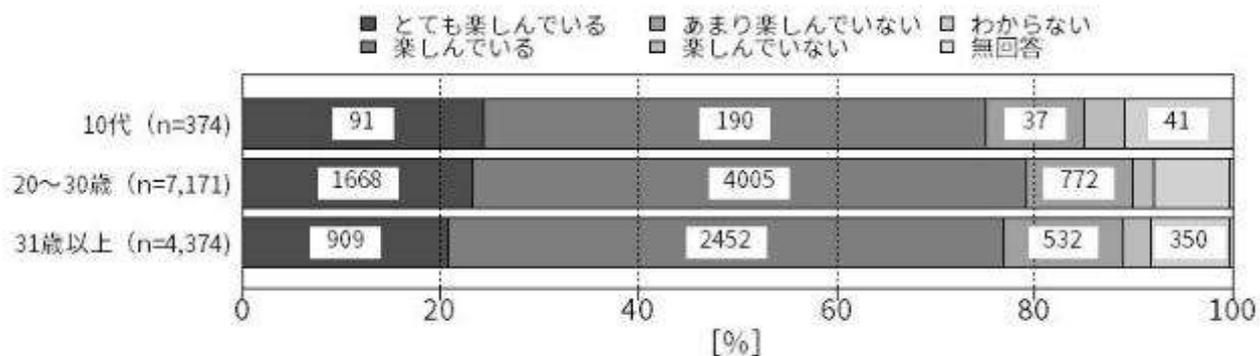
※母親が回答者の場合に限定

10代で出産する人は人数が少ないため、この群と比較して傾向を述べることはできない。

初めて親となった年齢別に見た、心の状態（1）生活を楽しんでいる（問 33×問 36-1）

※母親が回答者の場合に限定

<大阪市 24 区>



<大阪市港区>

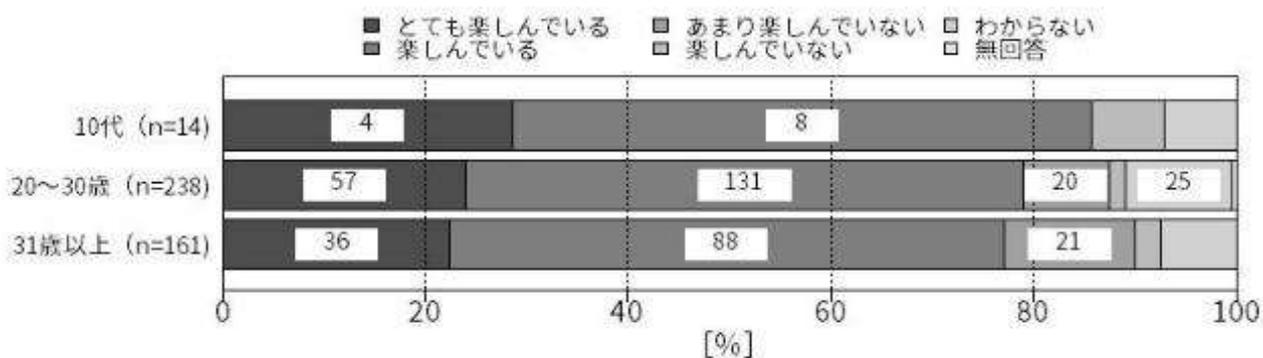


図 105. 初めて親となった年齢別に見た、心の状態（1）生活を楽しんでいる

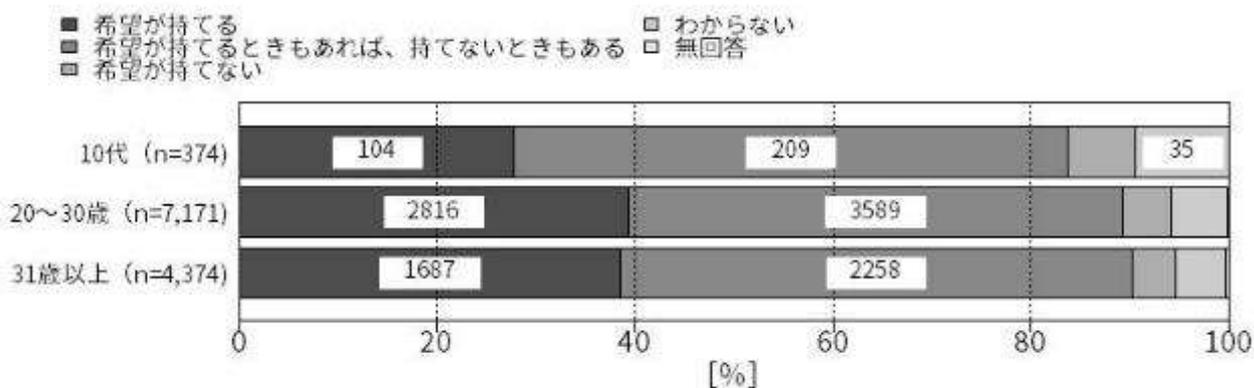
※母親が回答者の場合に限定

10代で出産する人は人数が少ないため、この群と比較して傾向を述べることはできない。

初めて親となった年齢別に見た、心の状態（２）将来への希望（問 33×問 36-2）

※母親が回答者の場合に限定

<大阪市 24 区>



<大阪市港区>

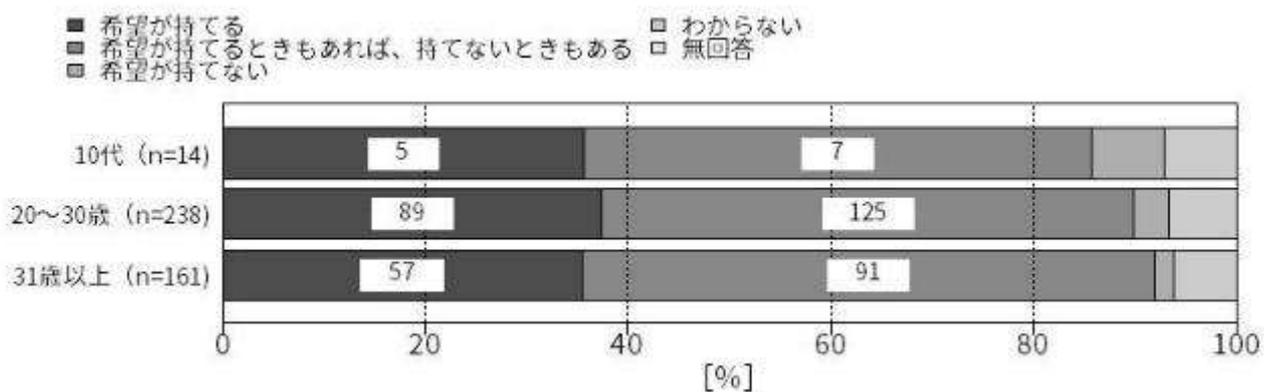


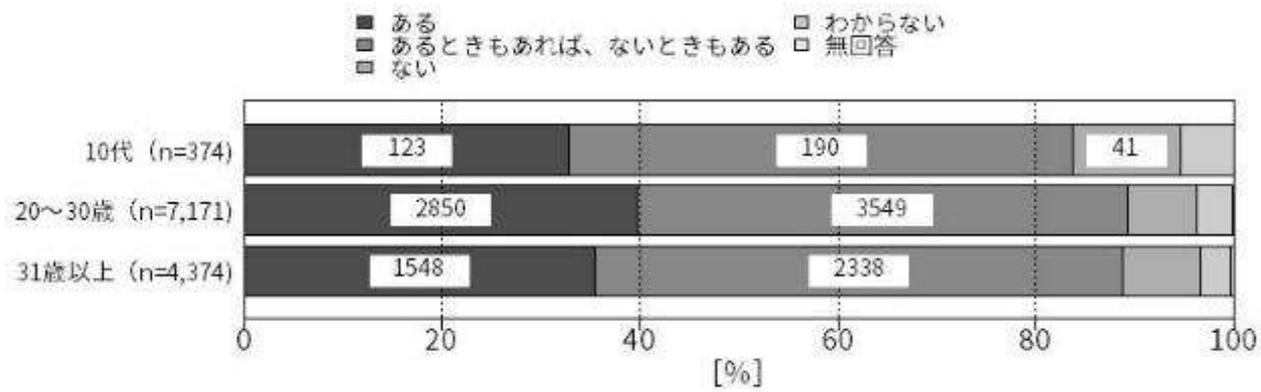
図 106. 初めて親となった年齢別に見た、心の状態（２）将来への希望

※母親が回答者の場合に限定

10代で出産する人は人数が少ないため、この群と比較して傾向を述べることはできない。

初めて親となった年齢別に見た、心の状態（3）ストレス発散できるもの
 （問 33×問 36-3）※母親が回答者の場合に限定

<大阪市 24 区>



<大阪市港区>

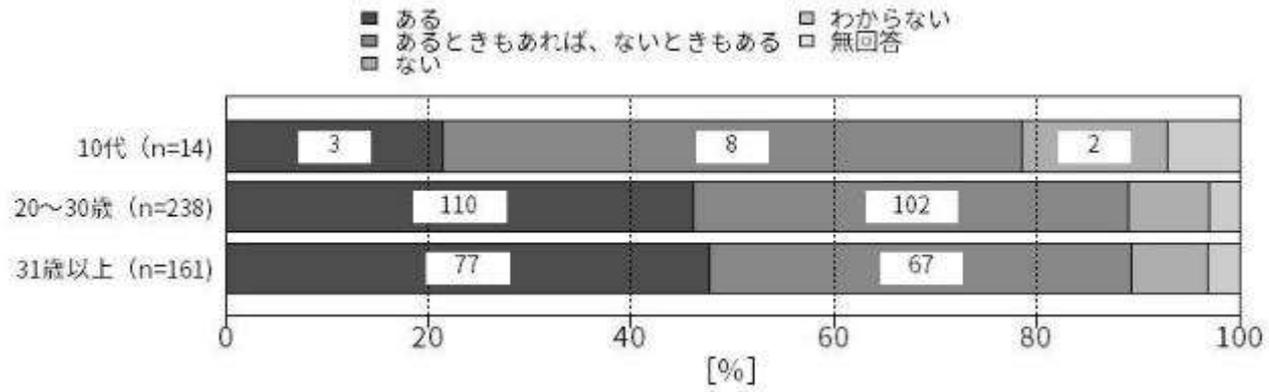
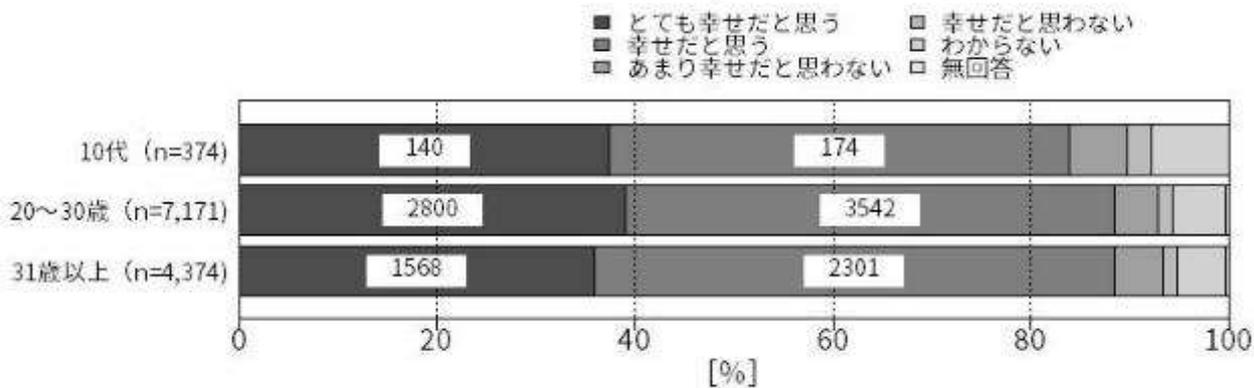


図 107. 初めて親となった年齢別に見た、心の状態（3）ストレス発散できるもの
 ※母親が回答者の場合に限定

10代で出産する人は人数が少ないため、この群と比較して傾向を述べることはできない。

初めて親となった年齢別に見た、心の状態（４）幸せだと思う（問 33×問 36-4）
 ※母親が回答者の場合に限定

<大阪市 24 区>



<大阪市港区>

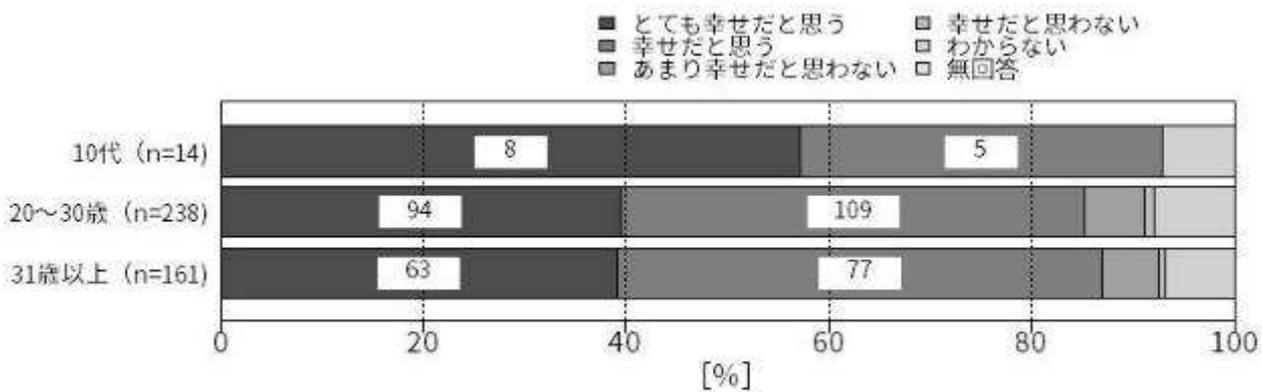


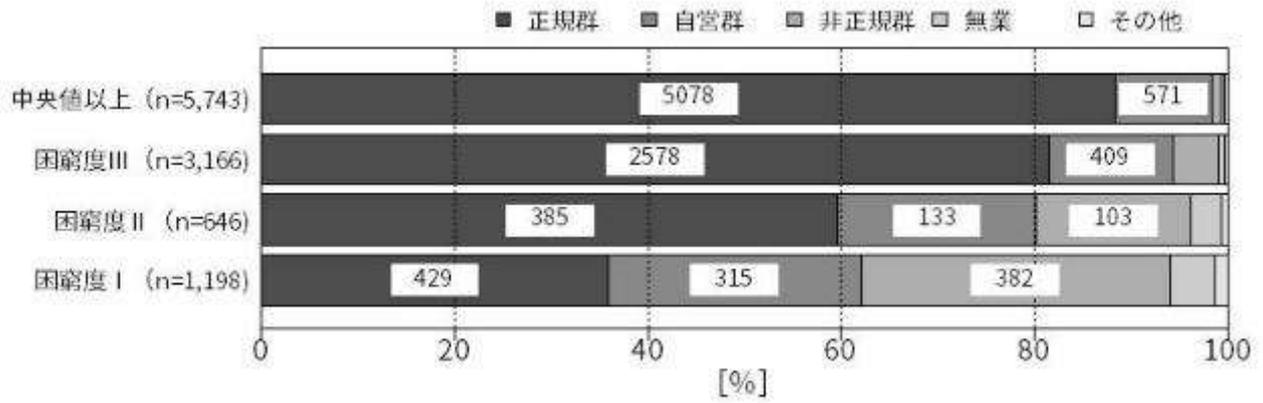
図 108. 初めて親となった年齢別に見た、心の状態（４）幸せだと思う
 ※母親が回答者の場合に限定

10代で出産する人は人数が少ないため、この群と比較して傾向を述べることはできない。

3-2. 雇用

困窮度別に見た、就労状況（問8）

<大阪市 24 区>



<大阪市港区>

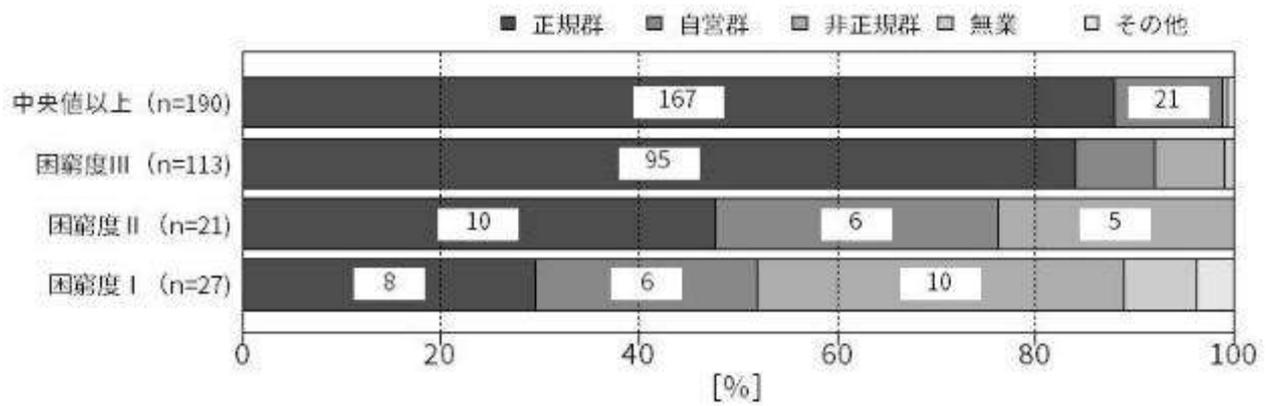
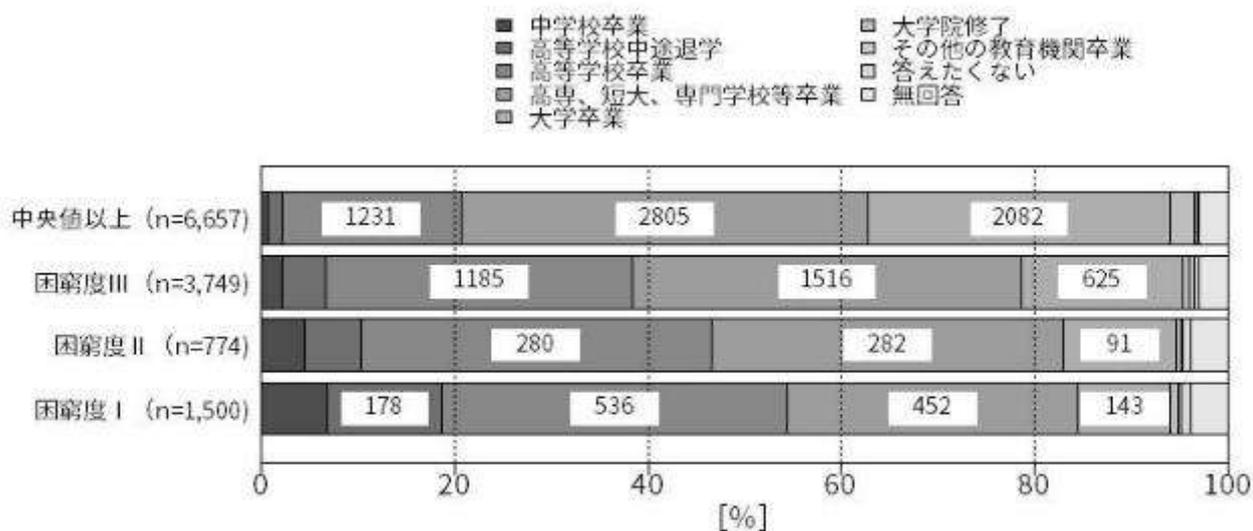


図 109. 困窮度別に見た、就労状況

困窮度が高まるにつれて、正規群の割合が減り、非正規群・自営群の割合が高まる傾向にあった。困窮度Ⅰ群においては、自営群は22.2%、非正規群は37.0%であった。

困窮度別に見た、母親の最終学歴（問 7-母）

<大阪市 24 区>



<大阪市港区>

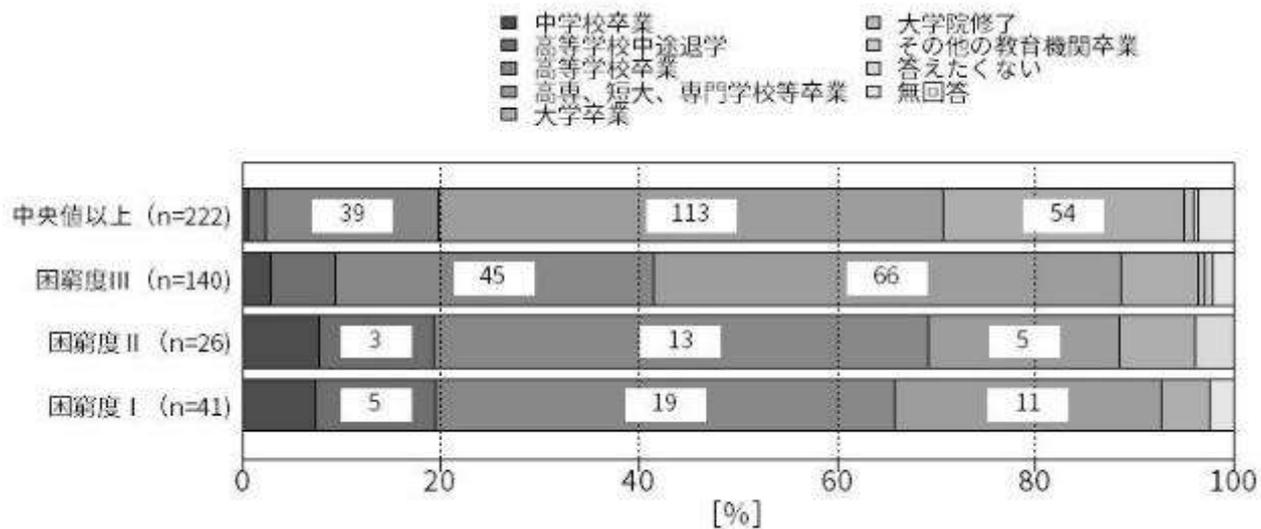
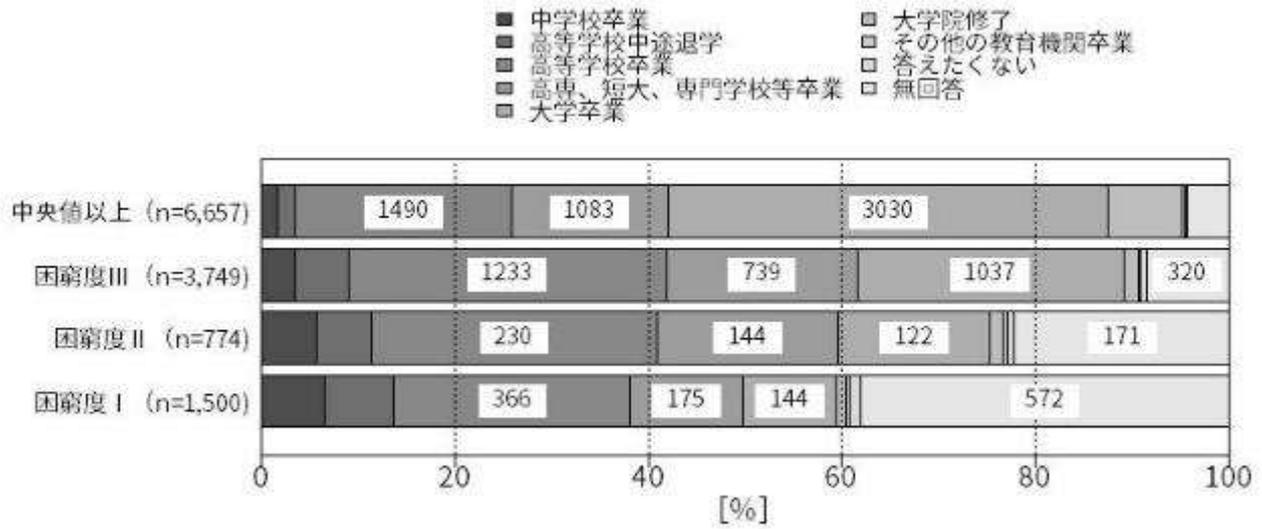


図 110. 困窮度別に見た、母親の最終学歴

困窮度が厳しくなるにしたがって、中卒と高校中退の割合が増える傾向にあった。困窮度Ⅰ群で「中学校卒業」は7.3%、「高等学校中途退学」は12.2%であった。

困窮度別に見た、父親の最終学歴（問 7-父）

<大阪市 24 区>



<大阪市港区>

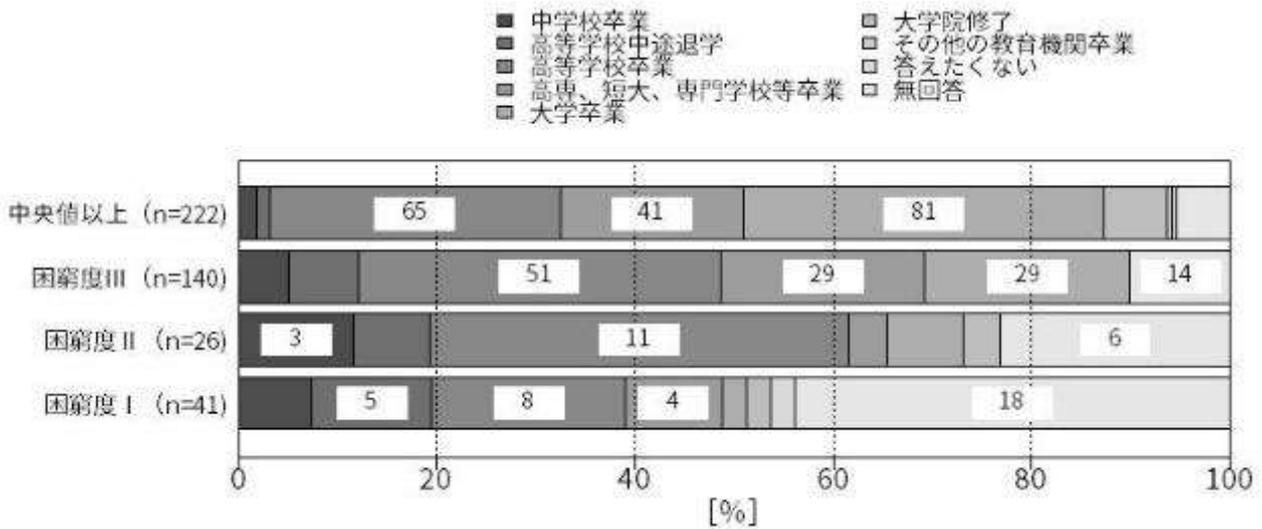
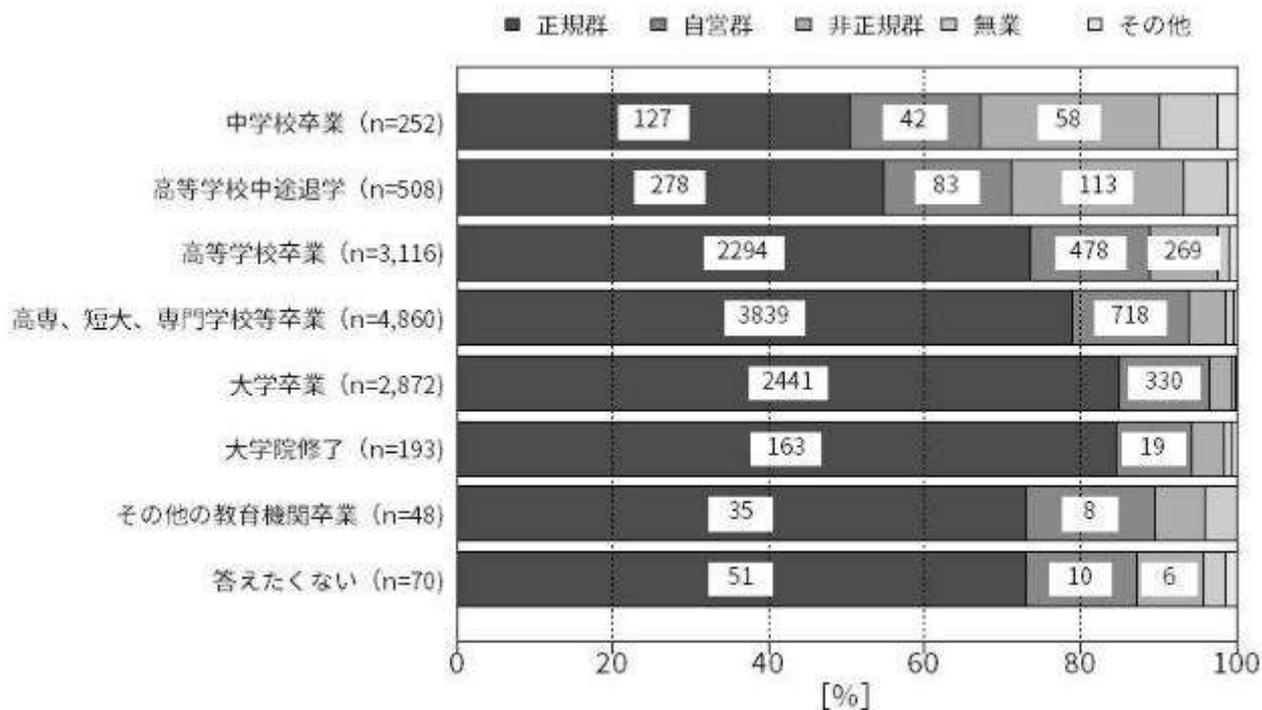


図 111. 困窮度別に見た、父親の最終学歴

困窮度が厳しくなるにしたがって、中卒と高校中退の割合が増える傾向にあった。困窮度Ⅰ群で「中学校卒業」は7.3%、「高等学校中途退学」は12.2%であった。

母親の最終学歴別に見た、就労状況（問7×問8）

<大阪市24区>



<大阪市港区>

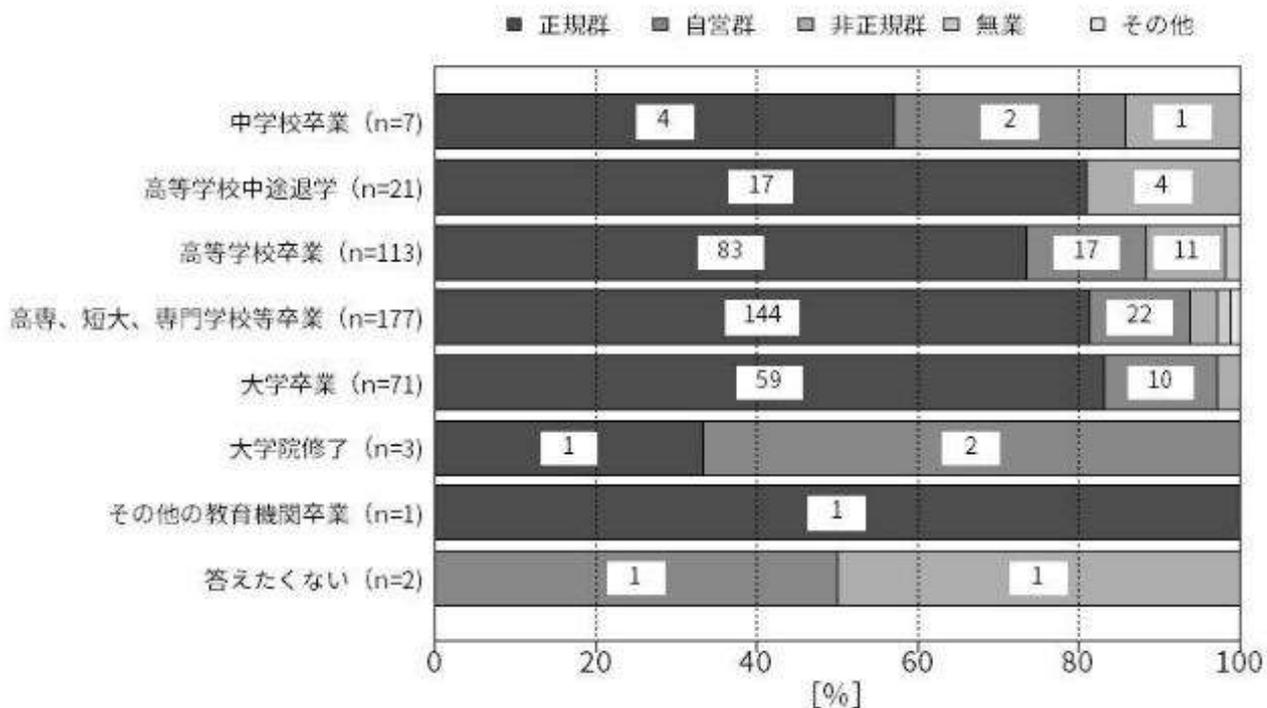
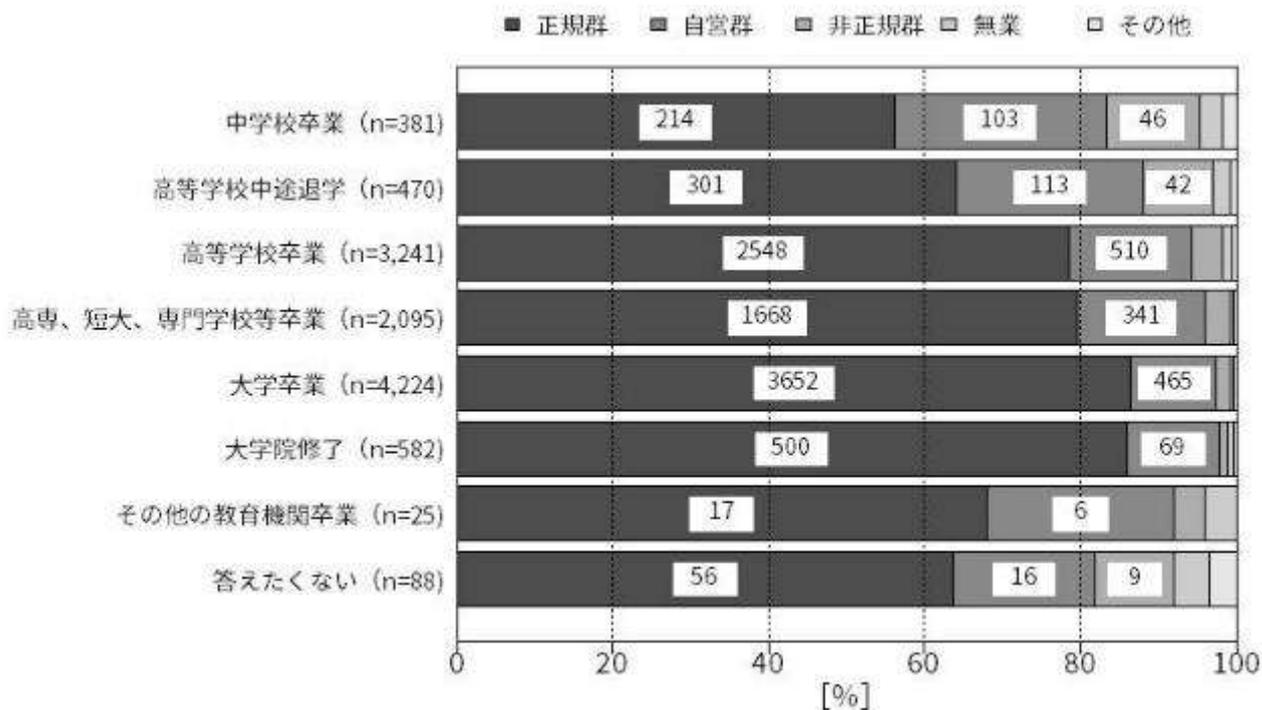


図 112. 母親の最終学歴別に見た、就労状況

就労状況の、母親の最終学歴による大きな差は見られなかった。

父親の最終学歴別に見た、就労状況（問7×問8）

<大阪市24区>



<大阪市港区>

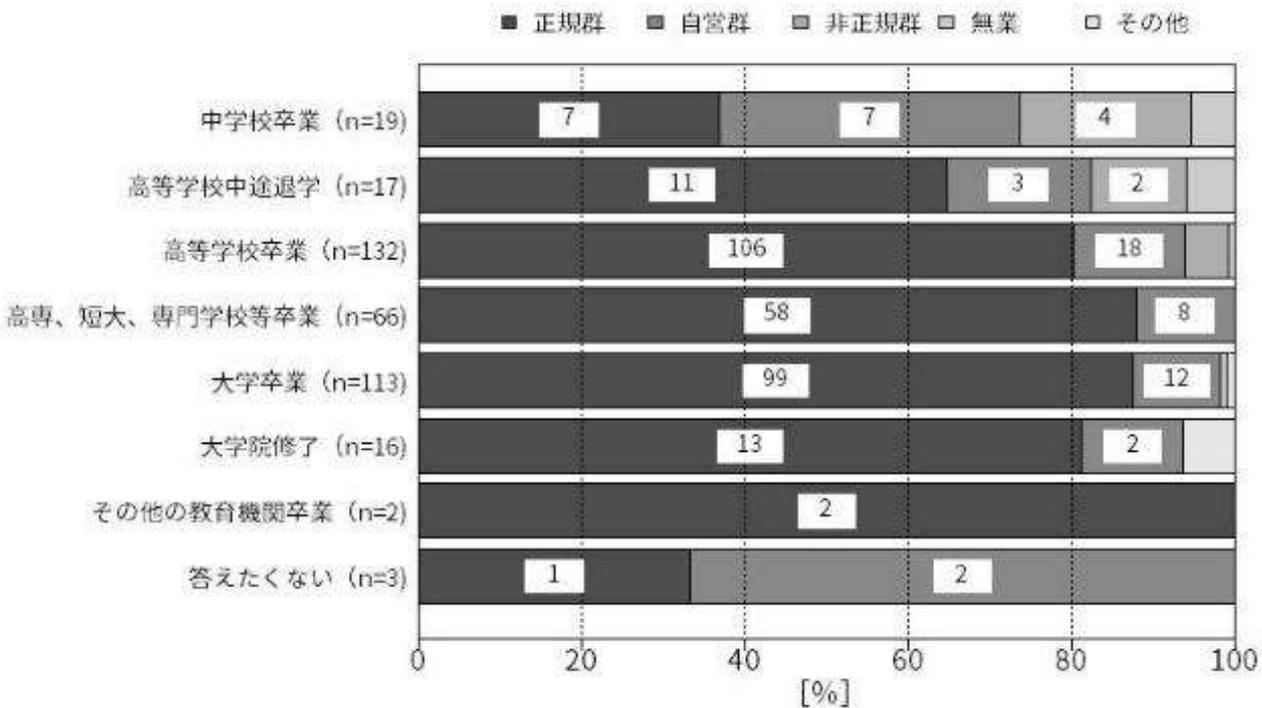
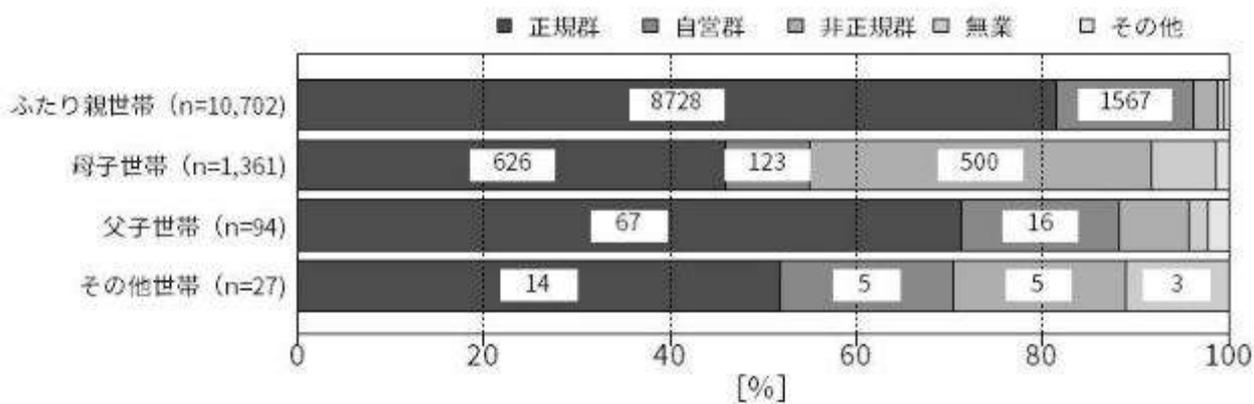


図 113. 父親の最終学歴別に見た、就労状況

中学校卒業では、正規群の割合が少ない傾向にあった。学歴が高いほど、正規群の割合が高く、非正規群の割合が低くなる。

世帯構成別に見た、就労状況（問1×問8）

<大阪市 24 区>



<大阪市 港区>

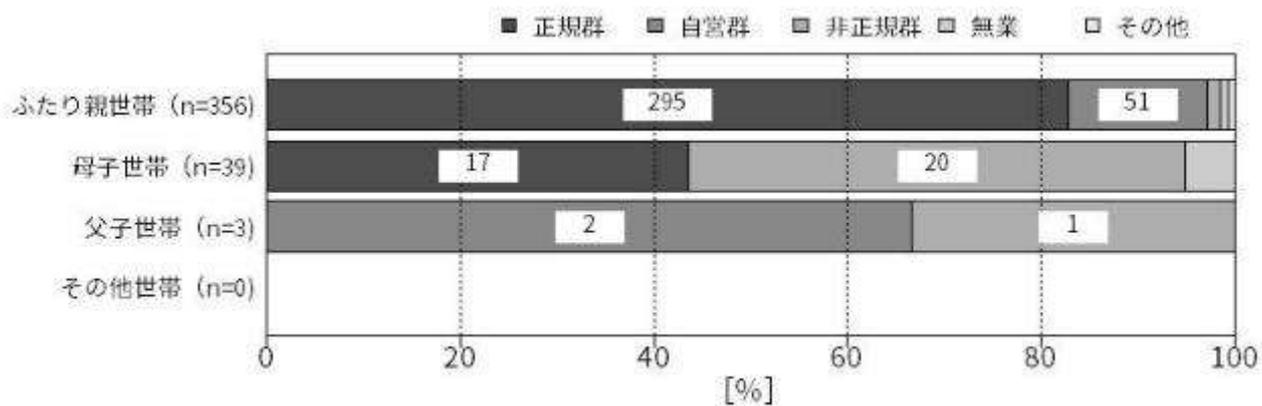
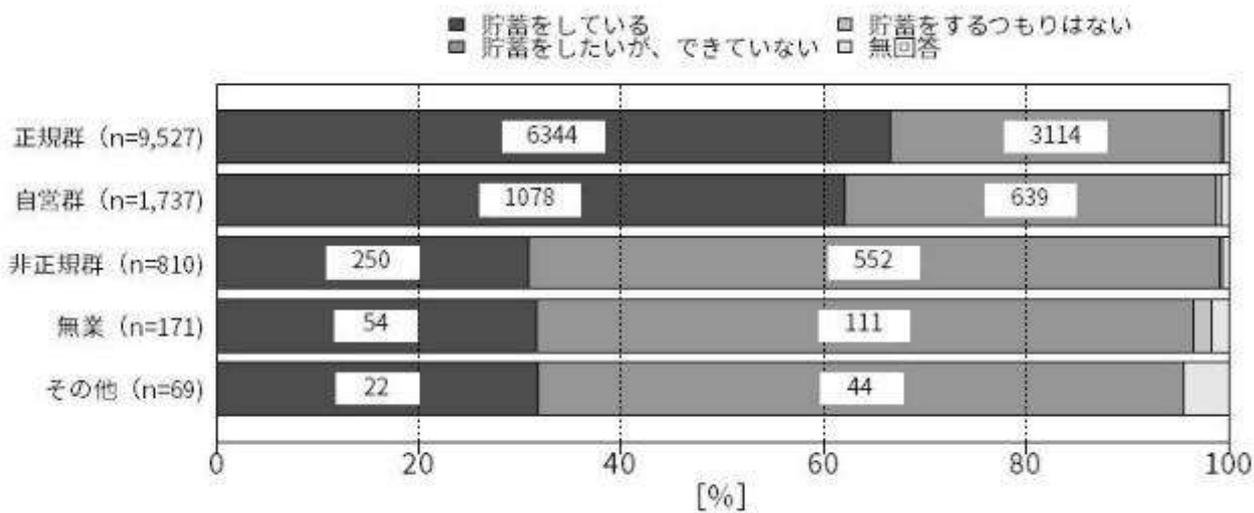


図 114. 世帯構成別に見た、就労状況

ふたり親世帯では、正規群の割合が高かった。母子世帯では、正規群の割合が43.6%であった。

就労状況別に見た、子どものための貯蓄（問8×問5-3）

<大阪市 24 区>



<大阪市港区>

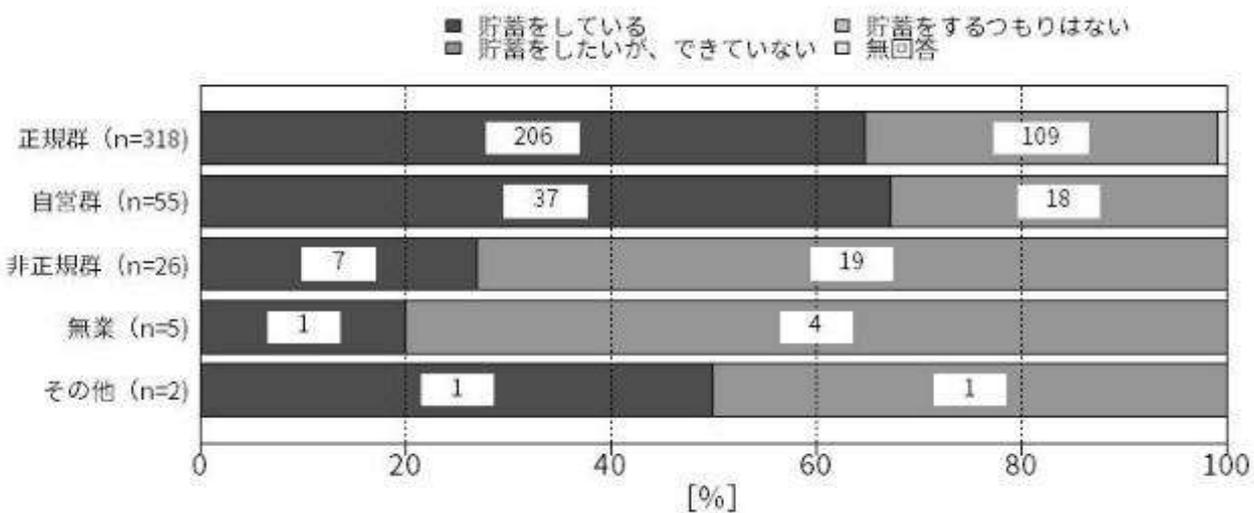
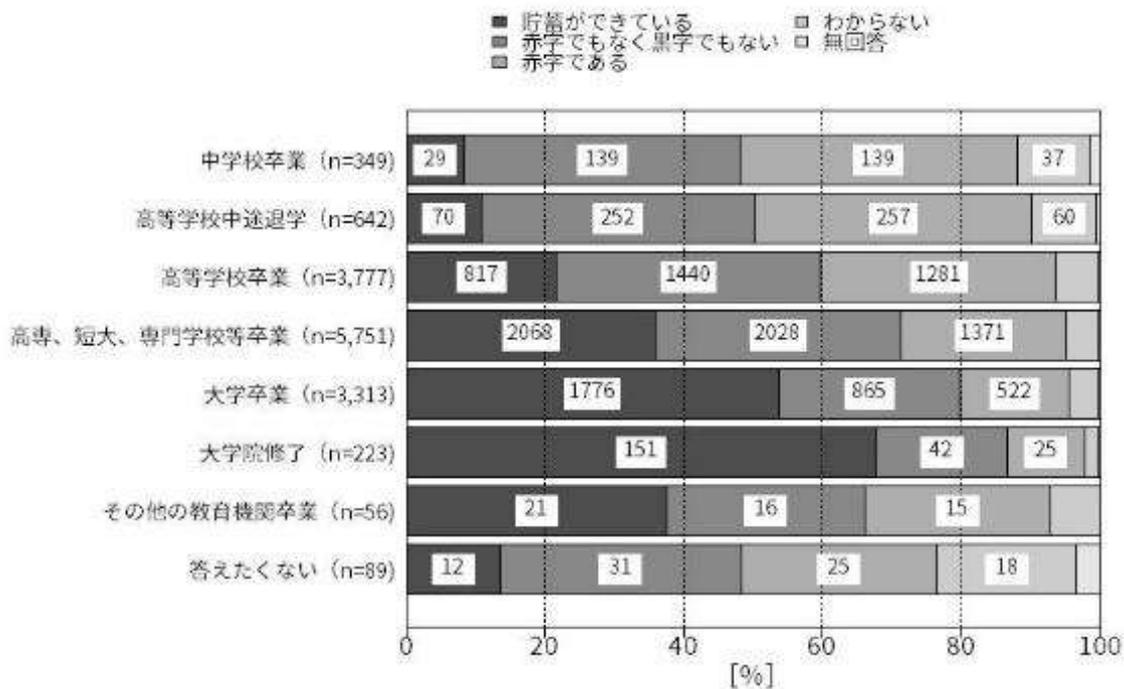


図 115. 就労状況別に見た、子どものための貯蓄

正規群では貯蓄ができていない割合が高く、非正規群・無業では貯蓄ができていない割合が低くなる傾向にあり、それぞれ 26.9%、20.0%であった。

母親の最終学歴別に見た、家計状況（問7×問5-1）

<大阪市24区>



<大阪市港区>

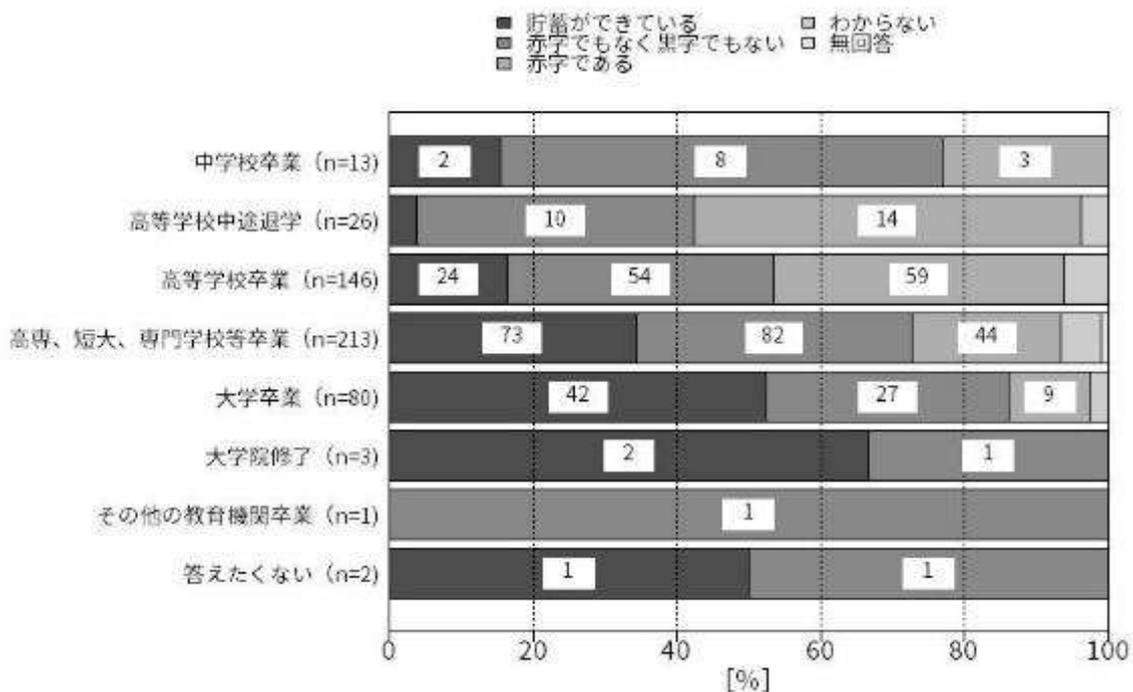
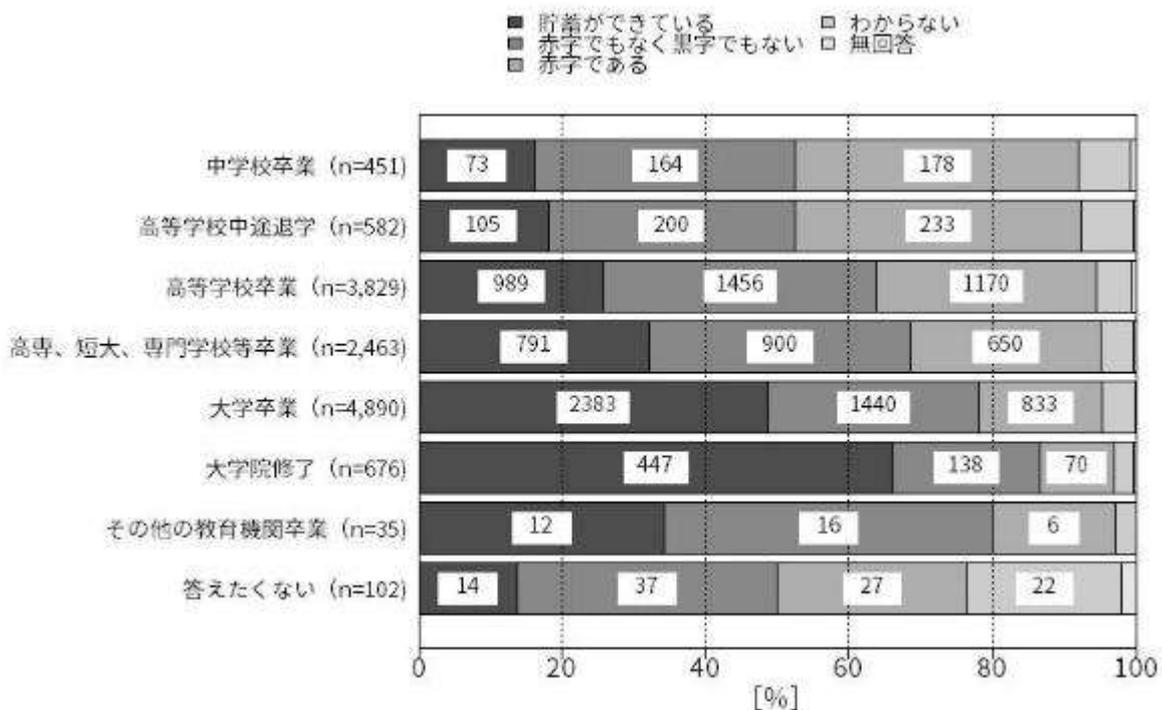


図 116. 母親の最終学歴別に見た、家計状況

中学校卒業、高等学校中途退学では、貯蓄ができていない割合が低い傾向にあった。学歴が高いほど、貯蓄ができていない割合が高くなる傾向にあった。

父親の最終学歴別に見た、家計状況（問7×問5-1）

<大阪市24区>



<大阪市港区>

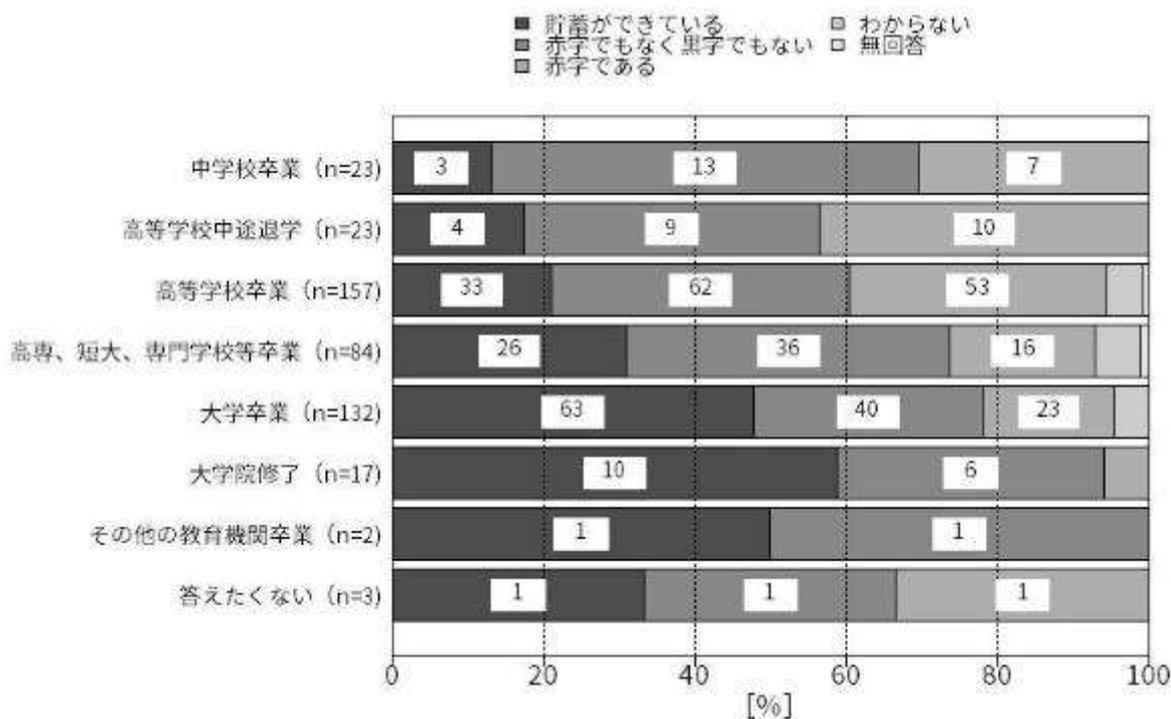
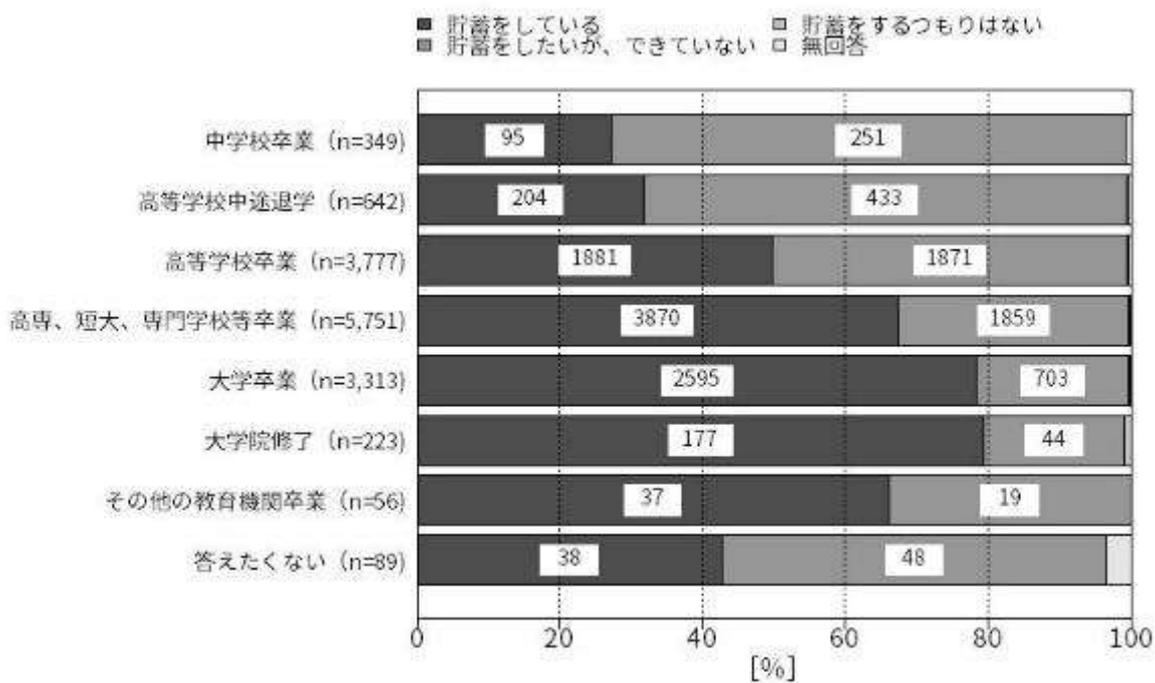


図 117. 父親の最終学歴別に見た、家計状況

中学校卒業、高等学校中途退学では、貯蓄ができていない割合が低い傾向にあった。学歴が高いほど、貯蓄ができていない割合が高く、赤字である割合が低くなる傾向にあった。

母親の最終学歴別に見た、子どものための貯蓄（問7×問5-3）

<大阪市24区>



<大阪市港区>

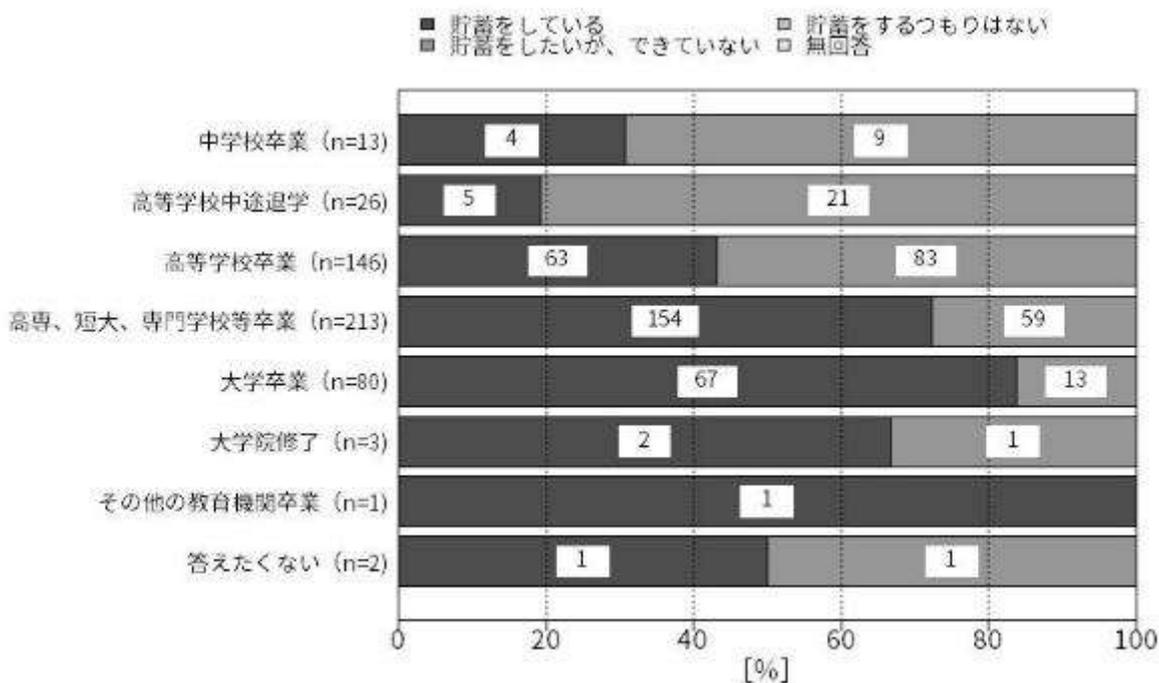
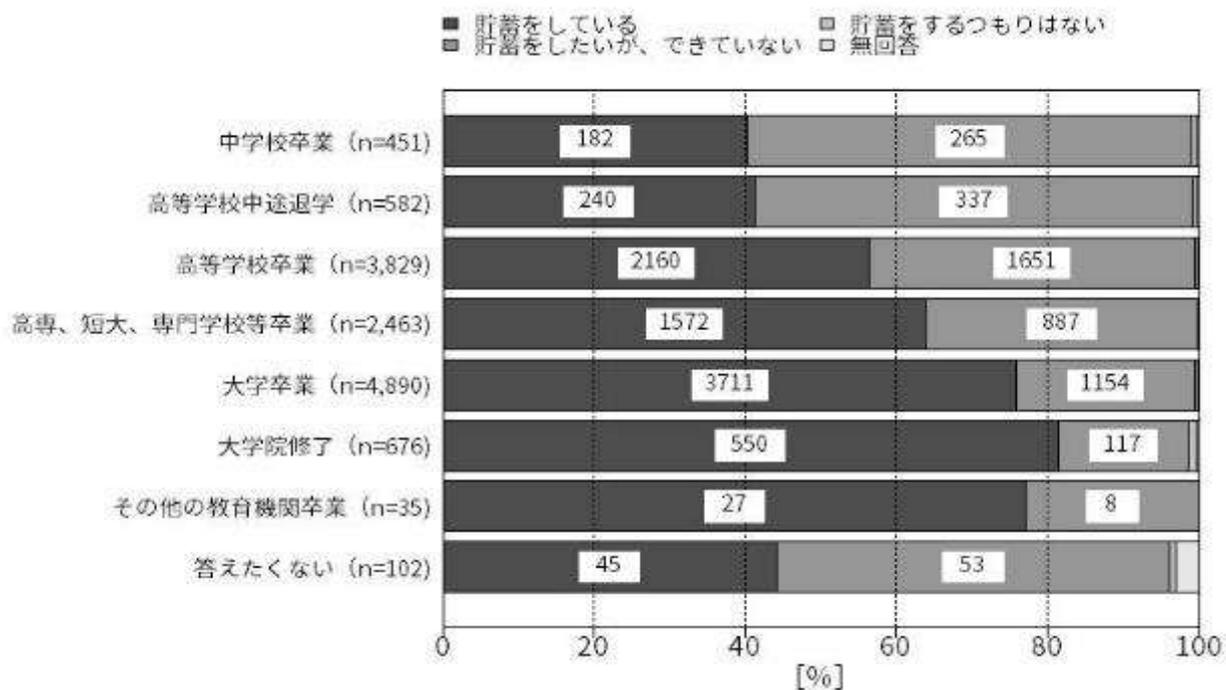


図 118. 母親の最終学歴別に見た、子どものための貯蓄

中学校卒業、高等学校中途退学では、子どものための貯蓄ができていない割合が少ない傾向にあった。学歴が高いほど、貯蓄ができていない割合が高くなる傾向にあった。

父親の最終学歴別に見た、子どものための貯蓄（問7×問5-3）

<大阪市 24 区>



<大阪市港区>

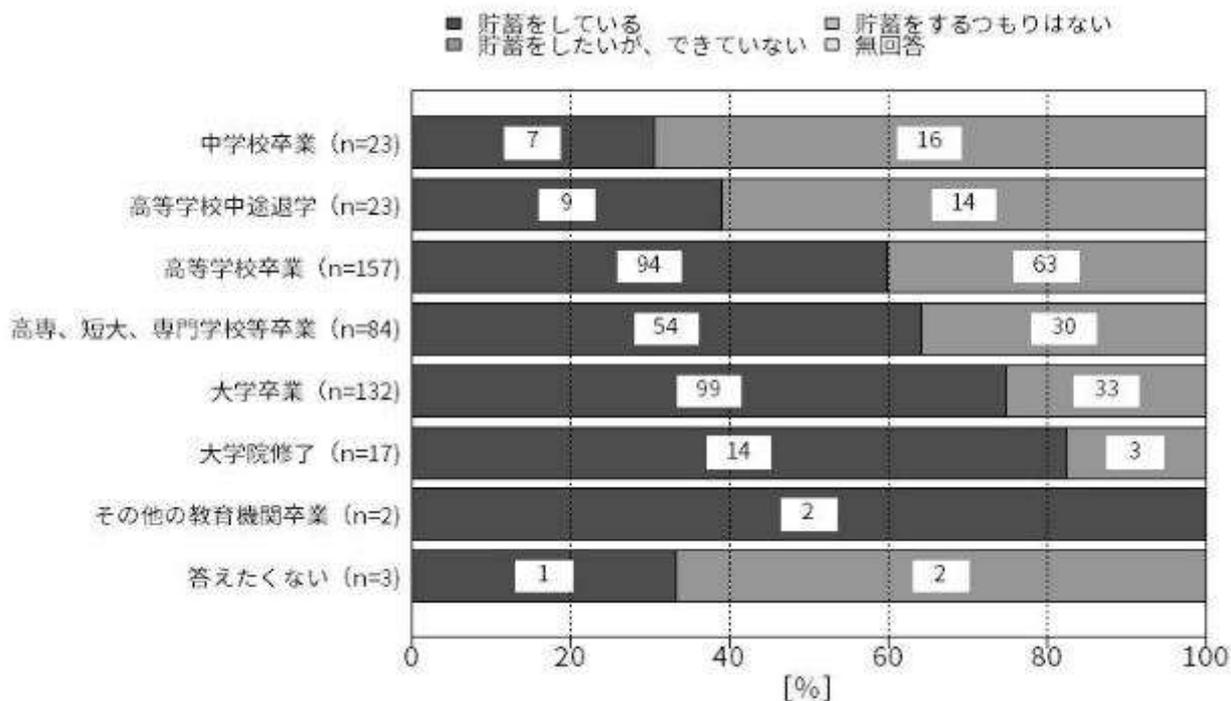


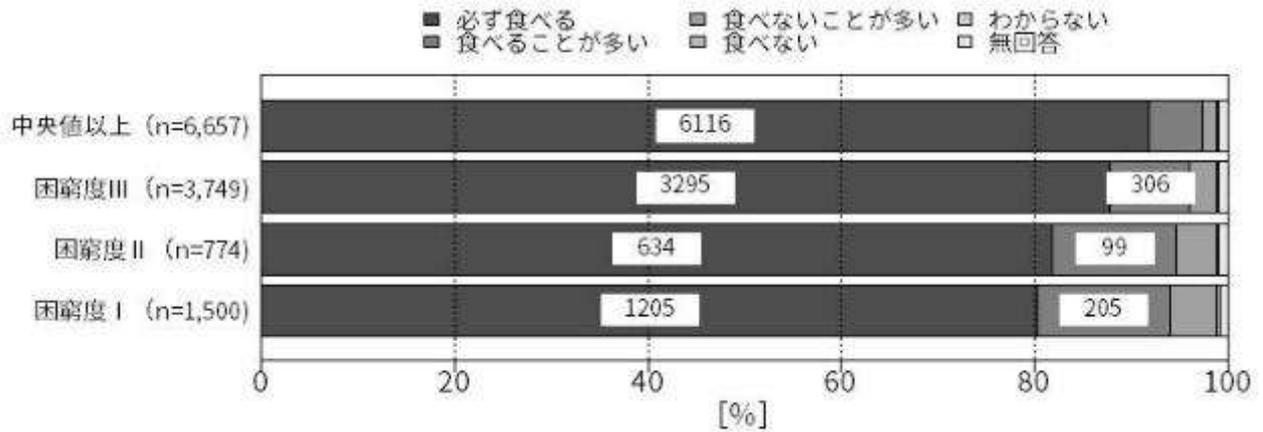
図 119. 父親の最終学歴別に見た、子どものための貯蓄

中学校卒業、高等学校中途退学では、子どものために貯蓄ができていない割合が少ない傾向にあった。学歴が高いほど、貯蓄ができていない割合が高くなる傾向にあった。

3-3. 健康

困窮度別に見た、朝食の頻度（問 17）

<大阪市 24 区>



<大阪市港区>

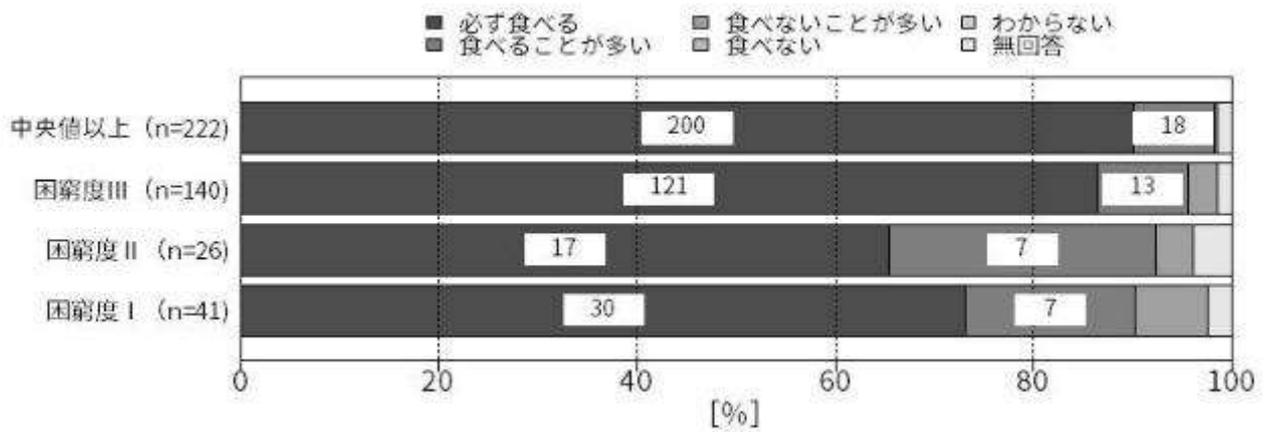
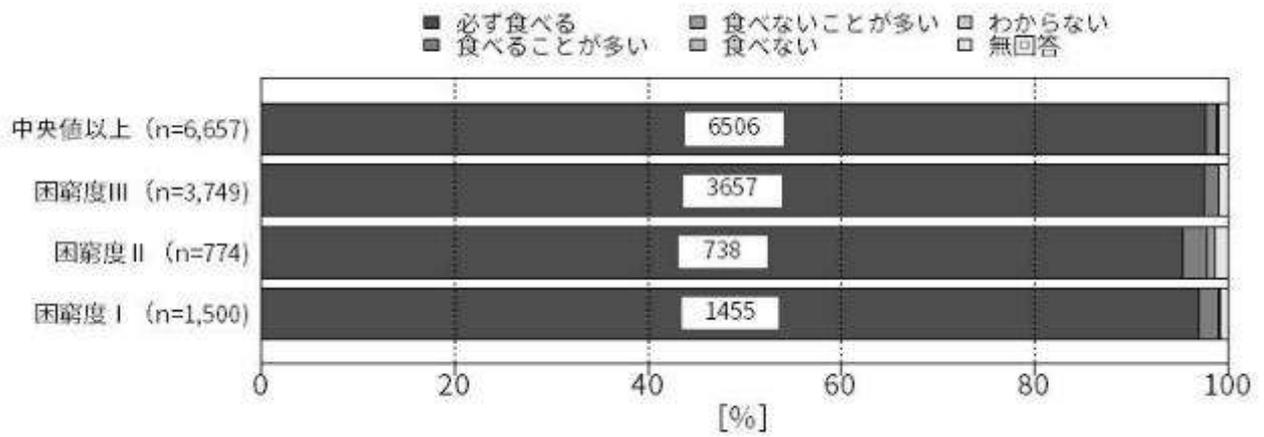


図 120. 困窮度別に見た、朝食の頻度

困窮度が厳しくなるにしたがって、「必ず食べる」の割合が低くなる傾向にあり、困窮度Ⅰ群においては73.2%となっている。

困窮度別に見た、夕食の頻度（問 20）

<大阪市 24 区>



<大阪市港区>

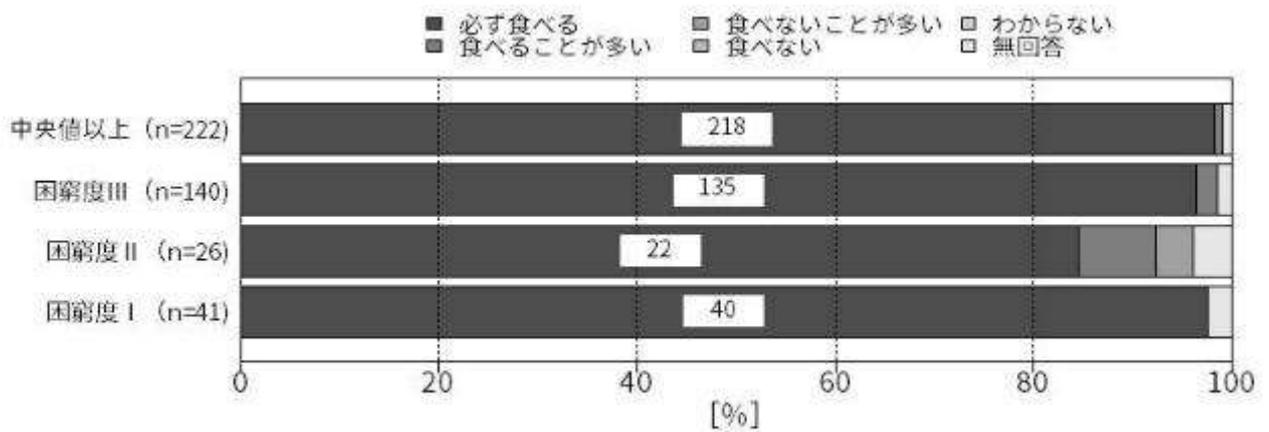
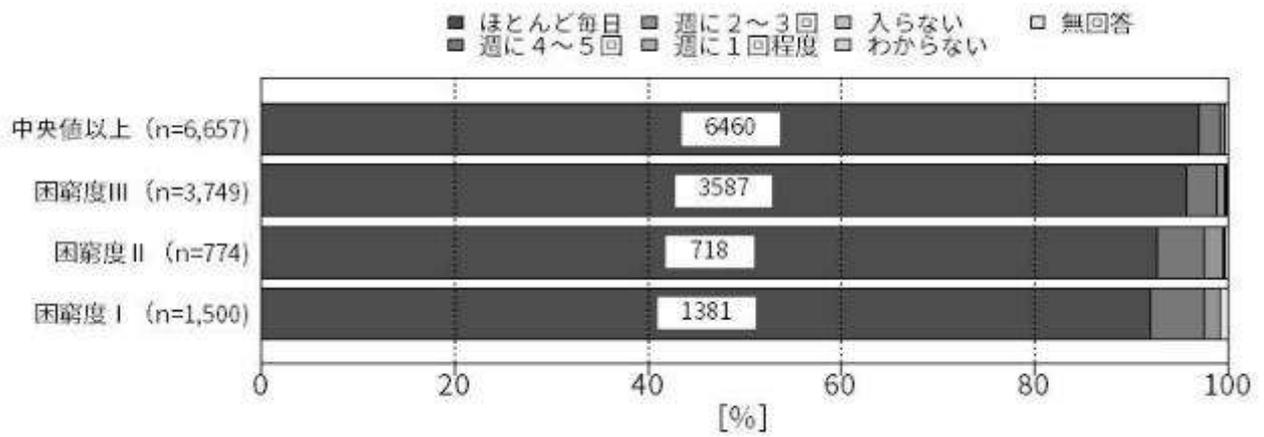


図 121. 困窮度別に見た、夕食の頻度

困窮度が高まるにつれて、毎日食べるわけではない割合が高くなっていった。

困窮度別に見た、入浴頻度（問 23）

<大阪市 24 区>



<大阪市港区>

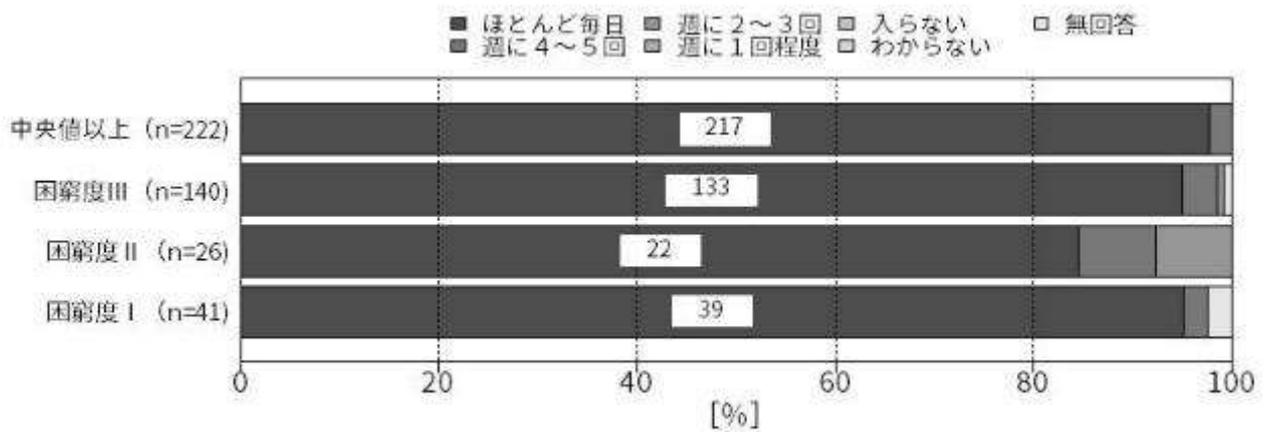
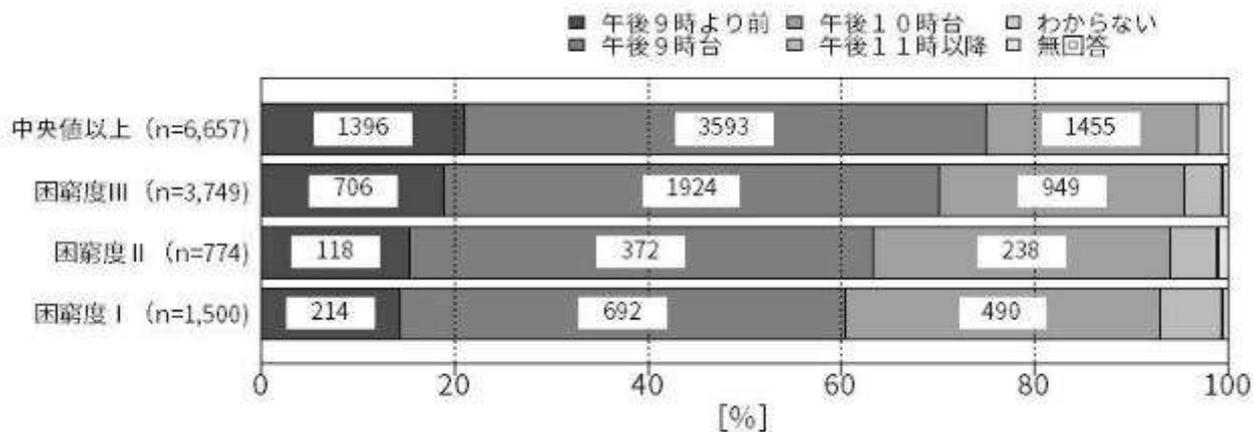


図 122. 困窮度別に見た、入浴頻度

困窮度が厳しくなるにしたがって、お風呂にほとんど毎日入る頻度が低くなる傾向にあり、困窮度Ⅰ群においては95.1%となっている。

困窮度別に見た、就寝時間（問 16）

<大阪市 24 区>



<大阪市港区>

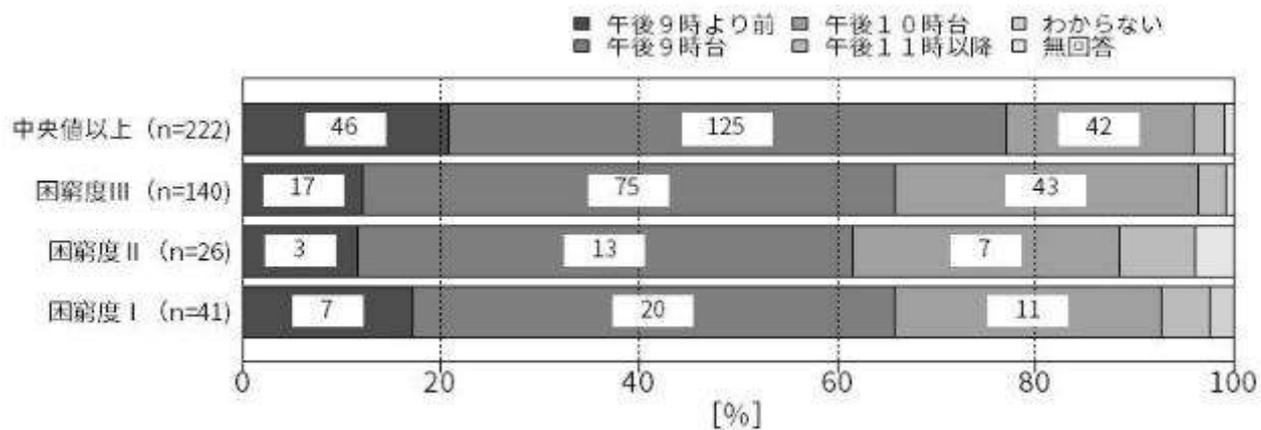
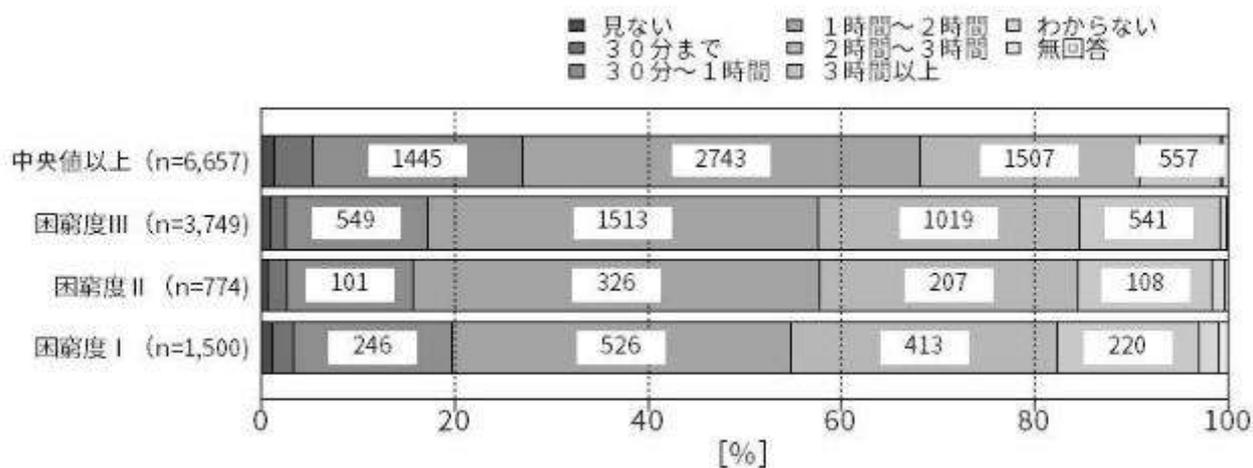


図 123. 困窮度別に見た、就寝時間

困窮度が厳しくなるにしたがって、就寝時間が遅くなる傾向にあった。困窮度Ⅰ群においては午後10時台と回答した割合がやや高く、26.8%となっている。

困窮度別に見た、テレビ視聴時間（問 24）

<大阪市 24 区>



<大阪市港区>

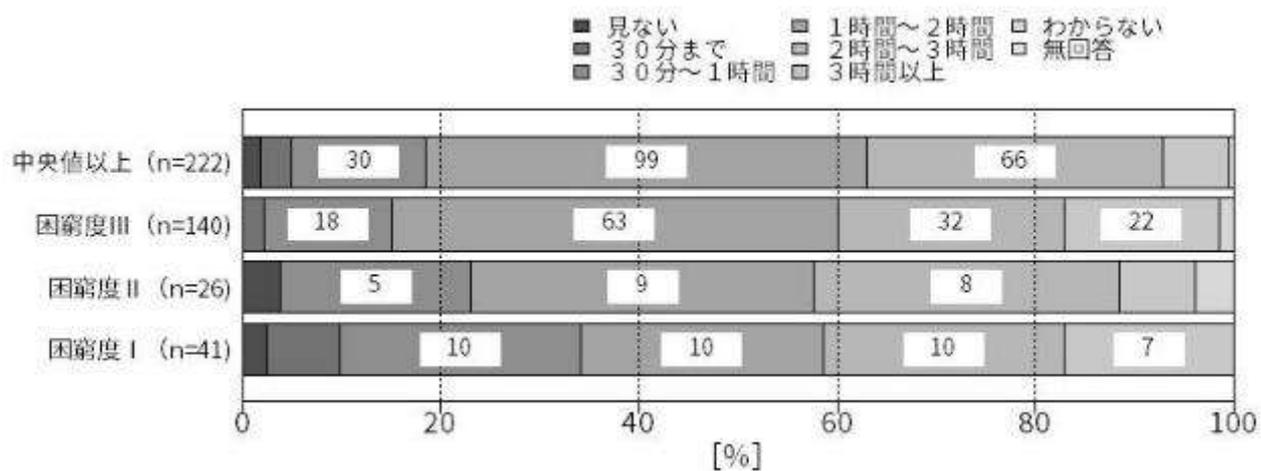
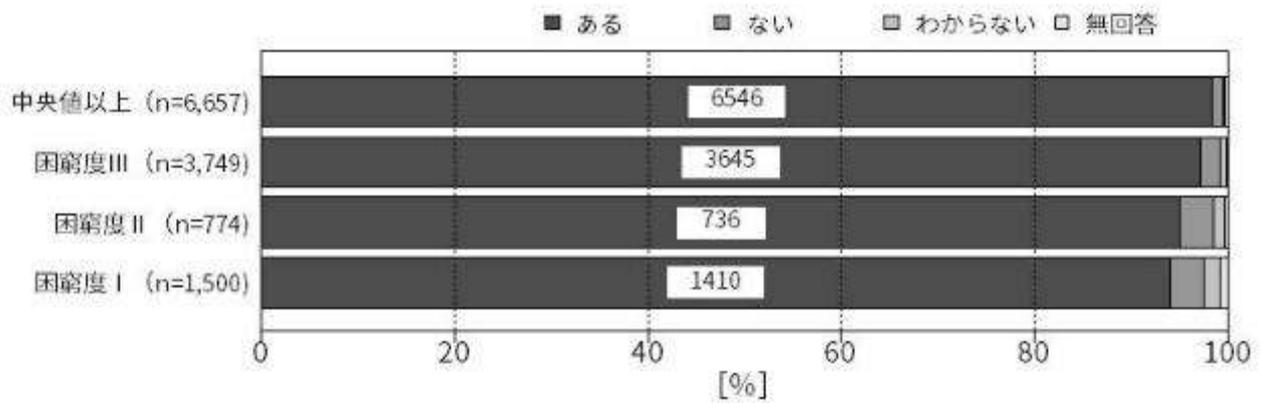


図 124. 困窮度別に見た、テレビ視聴時間

困窮度が厳しくなるにしたがって、視聴時間が長くなる傾向にあった。中央値以上群では「見ない」～「1時間～2時間」の回答を選択した割合が高く、約 6 割強となっている。

困窮度別に見た、歯磨きの習慣（問 25）

<大阪市 24 区>



<大阪市港区>

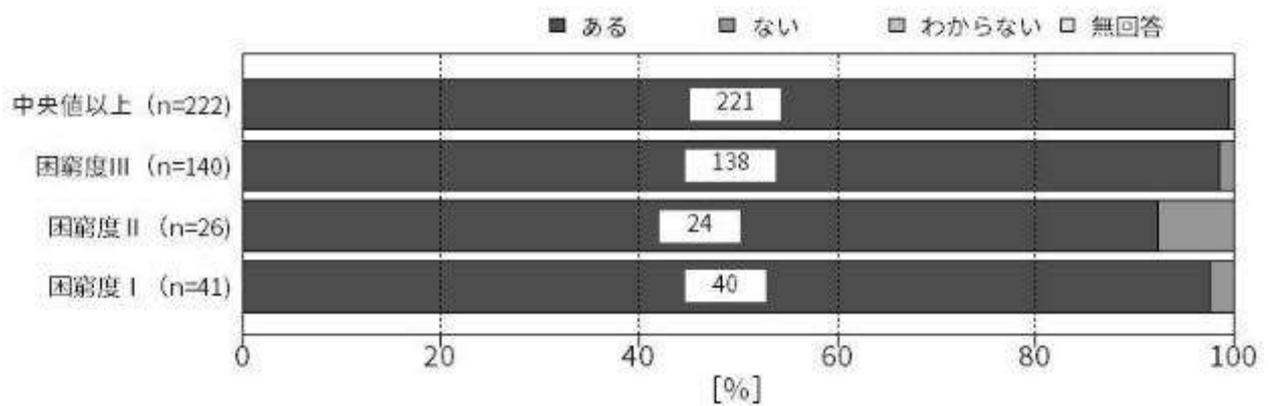
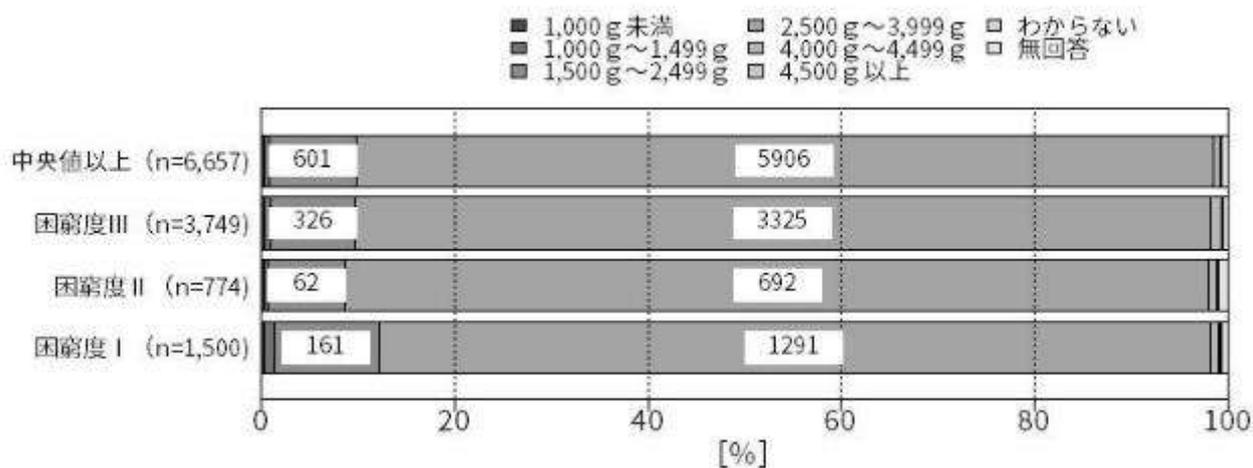


図 125. 困窮度別に見た、歯磨きの習慣

困窮度が厳しくなるにしたがって、歯磨きの習慣が「ある」の割合が低くなる傾向にあった。

困窮度別に見た、出生時体重（問 11）

<大阪市 24 区>



<大阪市港区>

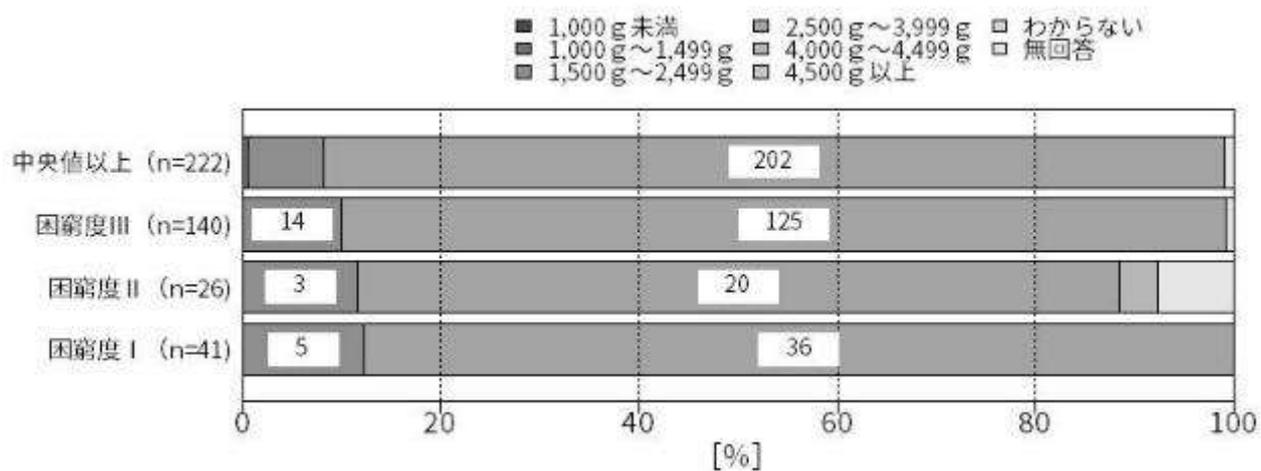
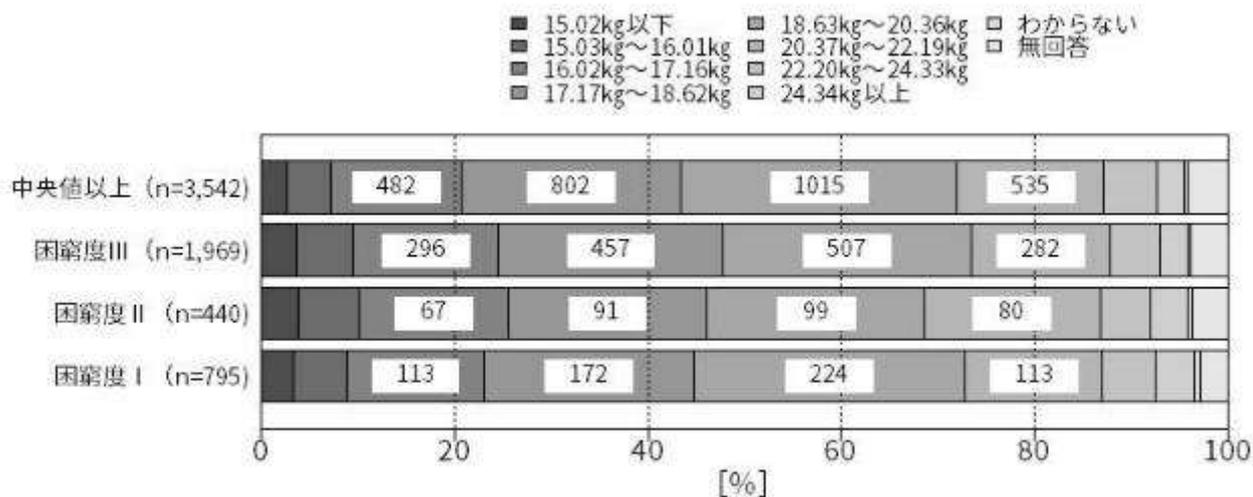


図 126. 困窮度別に見た、出生時体重

困窮度が厳しくなるにしたがって、出生時の体重が低くなる傾向にあった。困窮度Ⅰ群において「1,000 g ~ 1,499 g」「1,500 g ~ 2,499 g」と回答した割合は合計 12.2%であった。

困窮度別に見た、現在の体重（問 13-1）＜男子＞

＜大阪市 24 区＞



＜大阪市港区＞

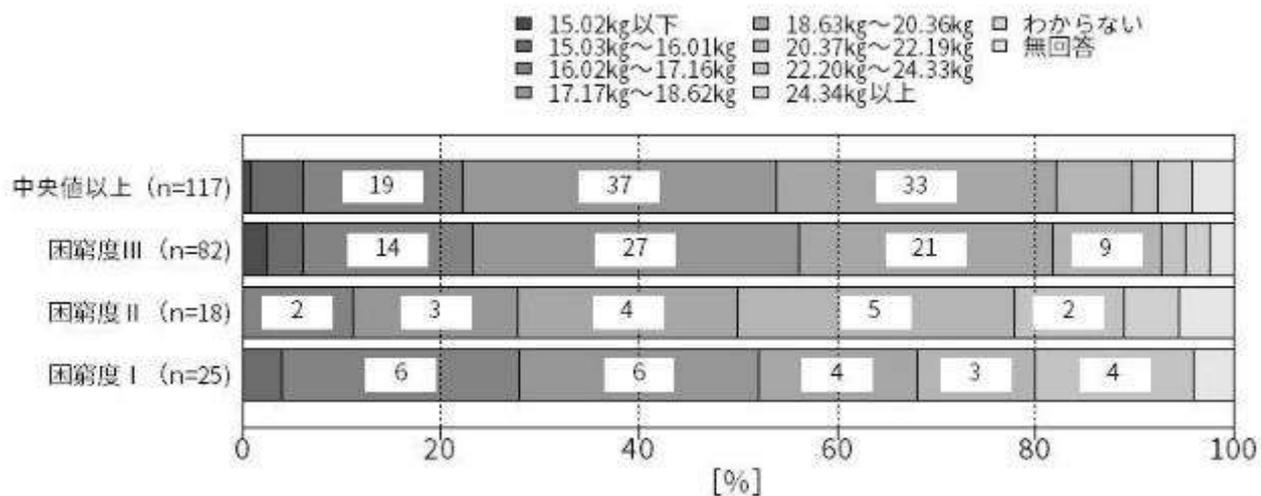
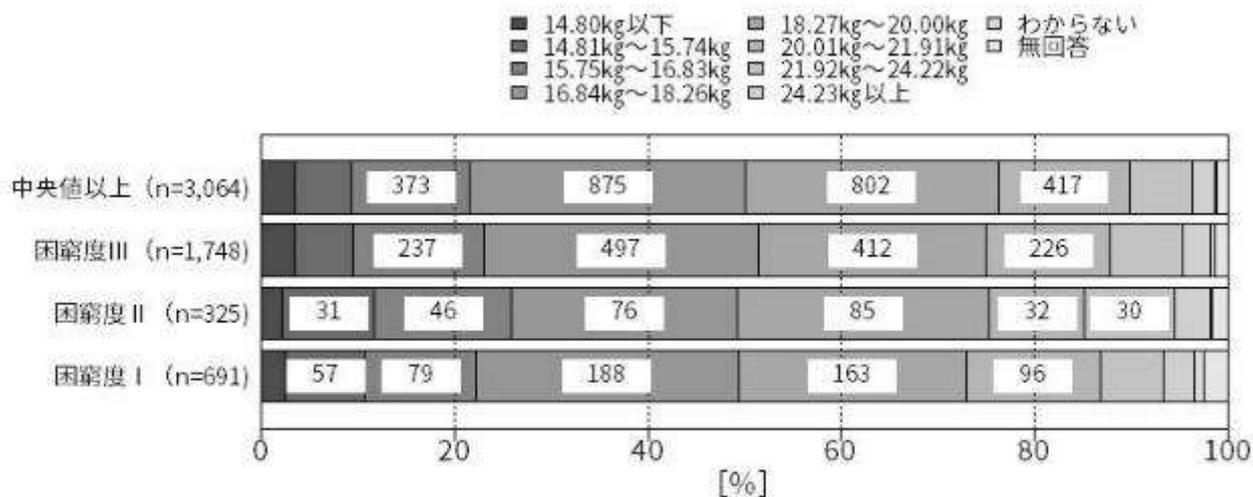


図 127. 困窮度別に見た、現在の体重＜男子＞

困窮度と現在の体重（男子）に関係は見られなかった。

困窮度別に見た、現在の体重（問 13-2）＜女子＞

<大阪市 24 区>



<大阪市港区>

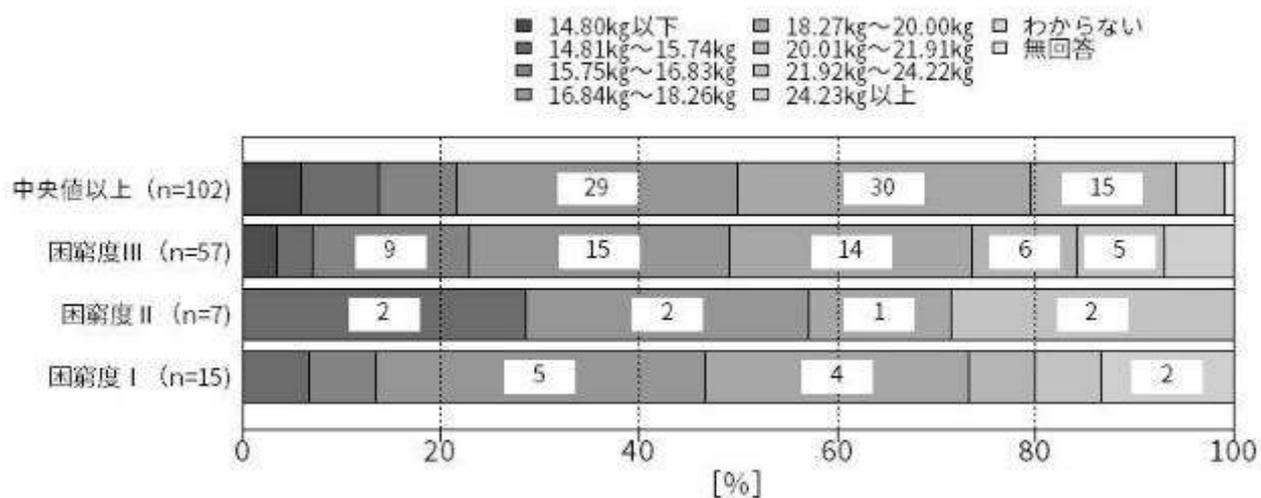
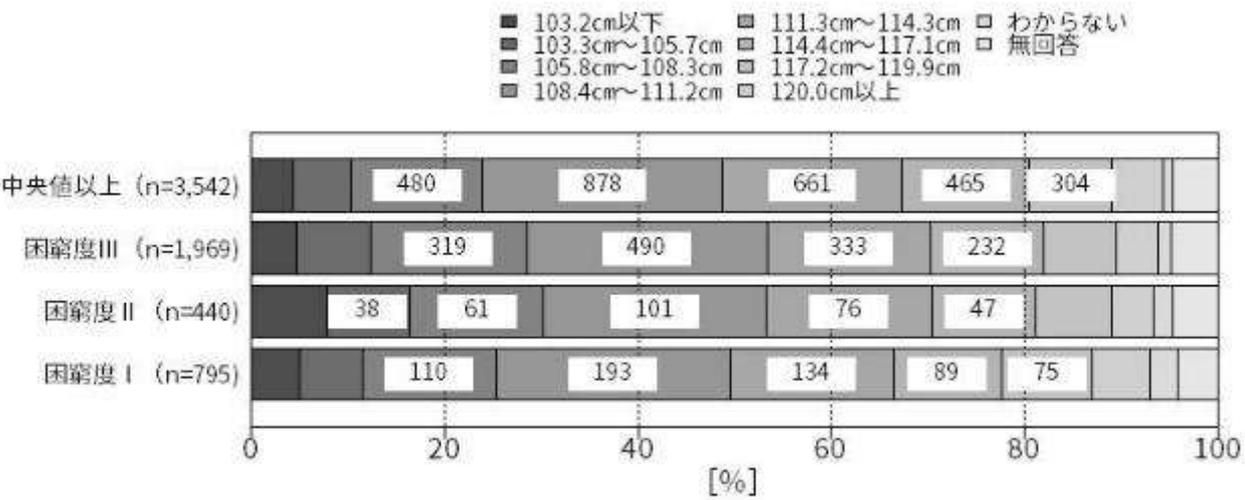


図 128. 困窮度別に見た、現在の体重＜女子＞

困窮度と現在の体重（女子）に関係は見られなかった。

困窮度別に見た、現在の身長（問 14-1）＜男子＞

<大阪市 24 区>



<大阪市港区>

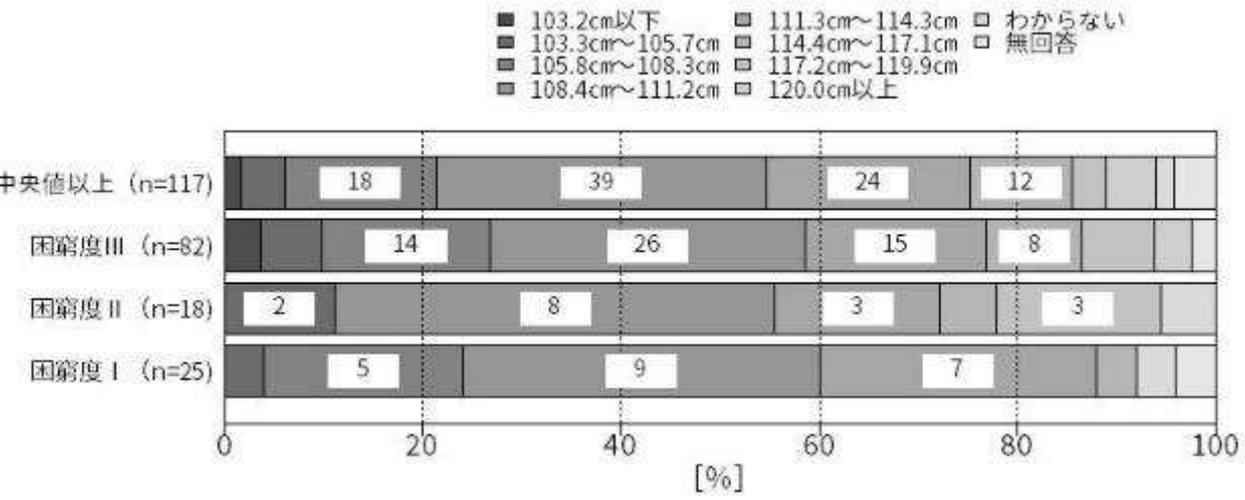


図 129. 困窮度別に見た、現在の身長＜男子＞

困窮度によって大きな差は見られなかった。